

熊本商工会議所 平成 25 年度調査事業

# 2014 年経済予測アンケート 結果報告書

## KEY WORD

- ★ 景気の現状 … 「やや好転」及び「変わらない」が同率の 35.4%でトップ  
「やや悪化」が減少し、好転の割合が増加
- ★ 景気の回復予測 … 「わからない」が 44.5%でトップ  
来年から回復(既に回復しているを含む)が 3 割超
- ★ 産業別動向 … 【全業種】 「やや好転」がトップ  
「やや好転」 — 【製造業】【建設業】  
「変わらない」 — 【運輸・通信業】【卸売・小売業】【飲食業】  
【金融・保険業】【サービス業】  
～ すべての業種で好転の割合が増加 ～
- ★ 円市場予測 … 「やや円安」がトップ。4 割が円安と予測。
- ★ 株式市場予測 … 「やや株高傾向」がトップ。5 割弱が株高と予測。
- ★ 経営上の問題点 … 「原材料価格の上昇」が半数近くでトップ  
次いで、新項目の「消費税増税に伴う価格転嫁難」
- ★ 経営上の重視点 … 依然として「売上高」「収益」重視の傾向が続く

熊 本 商 工 会 議 所

2 0 1 3 年 1 2 月

<本調査のお問い合わせ>

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課  
TEL354-6688 FAX354-8890

熊本商工会議所  
2014年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	4
4. 円市場	12
5. 株式市場	14
6. 金利	16
7. 経営の問題点	17
8. 経営の重視度	18

※ 巻末…「2014年経済予測アンケート」調査用紙

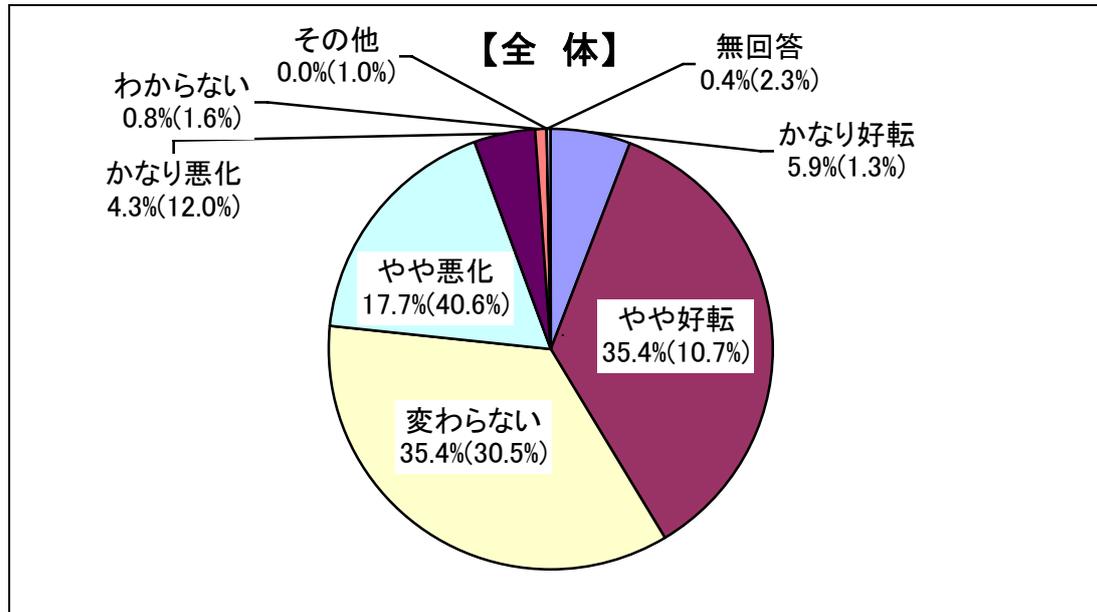
# 調査概要

1. 調査期間 平成25年11月18日(月)～11月24日(日)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 93企業・1団体 94名  
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業 393企業 393名  
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に  
おいては小規模企業と標記する)
3. 配布数 487名(486企業・1団体)
4. 調査方法 調査用紙配布:メール便送付 調査票回収:FAX
5. 回答者数 254名(有効回答率52.2%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

## 2013年11月 景気の現状

※ グラフの( )内は、前年数値

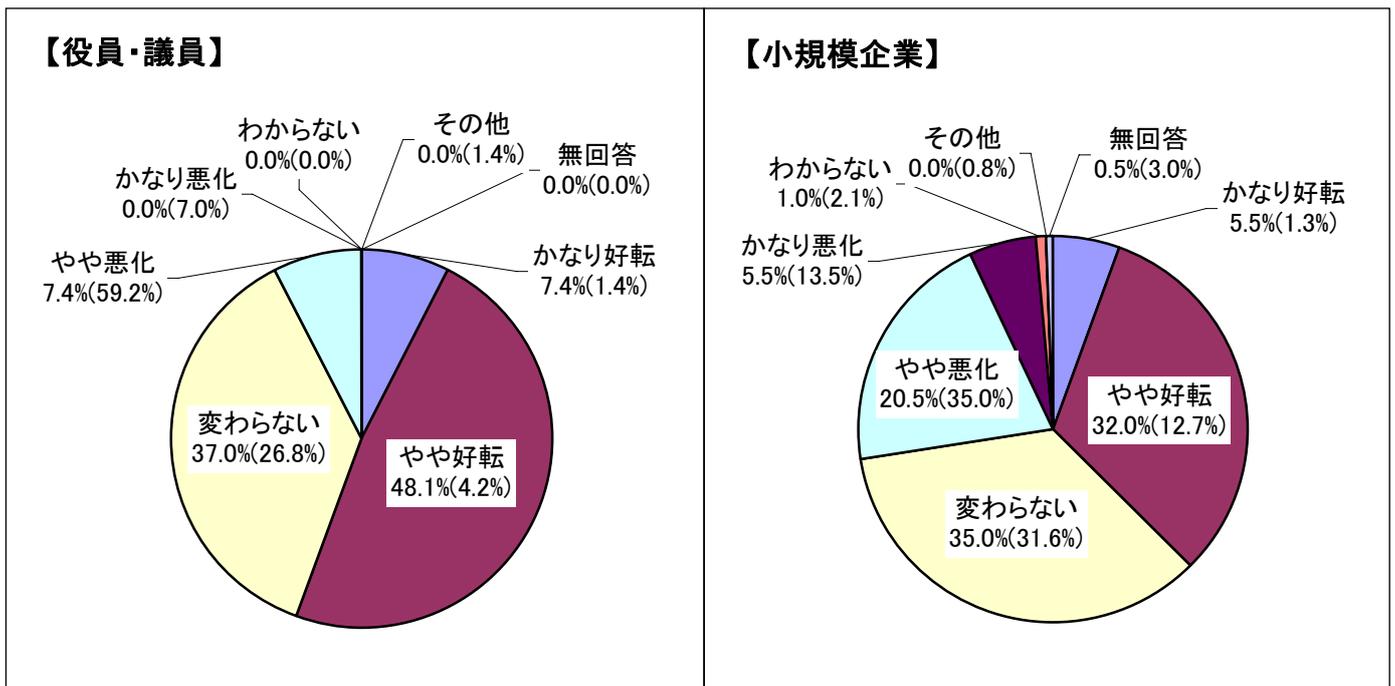
「やや好転」及び「変わらない」が35.4%でトップ、次いで「やや悪化」で17.7%



景気の現状(2013年11月下旬)については、「やや好転」及び「変わらない」がともに同率の35.4%でトップ。次いで、「やや悪化」で17.7%(対前年比-22.9)となった。前年に比べ「やや好転」が24.7ポイント増加、「かなり好転」も4.6ポイント増加し、4割超が「好転」と回答した。

## 2013年11月 規模別の景気の現状

【役員・議員】は「やや好転」がトップ、【小規模企業】は「変わらない」がトップ

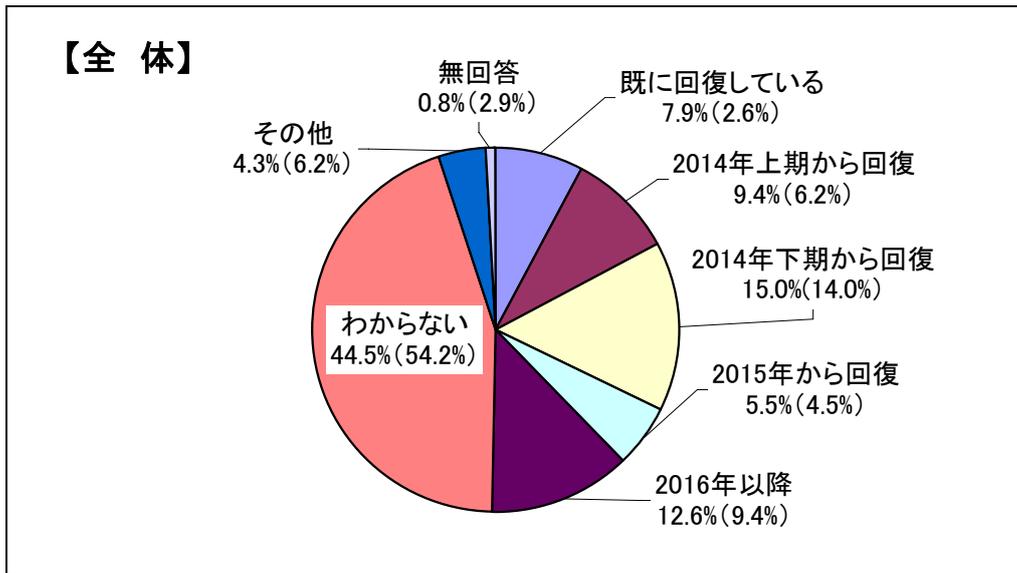


【役員・議員】は「やや好転」が48.1%(対前年比+43.9)と大幅に増加し、「悪化」は「やや悪化」の7.4%(対前年比-51.8)にとどまった。一方、【小規模企業】も「好転」の割合が37.5%(対前年比+23.5)と大幅に増加したが、依然として26%は「悪化」と回答している。

## 2014年 景気の回復時期

※ グラフの( )内は、前年数値

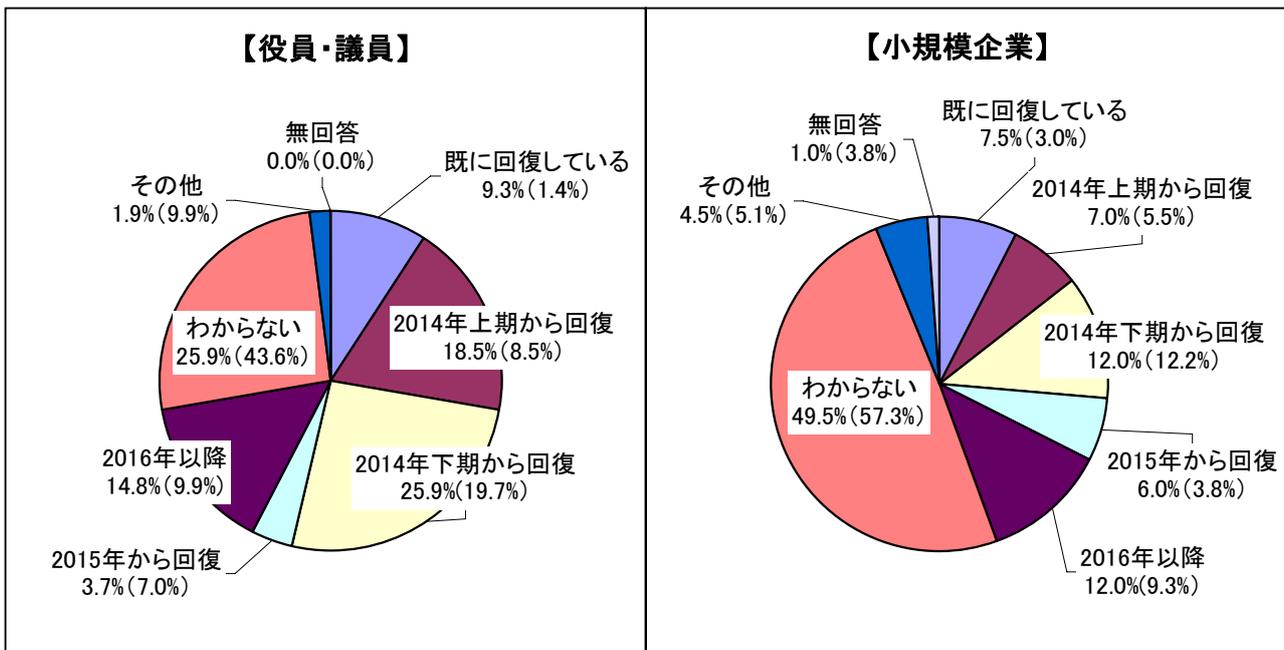
「来年には回復している」(既に回復しているを含む)が3割を超える



「わからない」が44.5%(対前年比-9.7)でトップ。次いで「来年(2014年)下期から回復」が15.0%(対前年比+1.0)。「わからない」が減少し、「来年には回復している(既に回復しているを含む)」と回答した企業は3割を超えた。

## 2014年 規模別の景気の回復時期

【役員・議員】は「2014年下期」と「わからない」がトップ、【小規模企業】は「わからない」がトップ

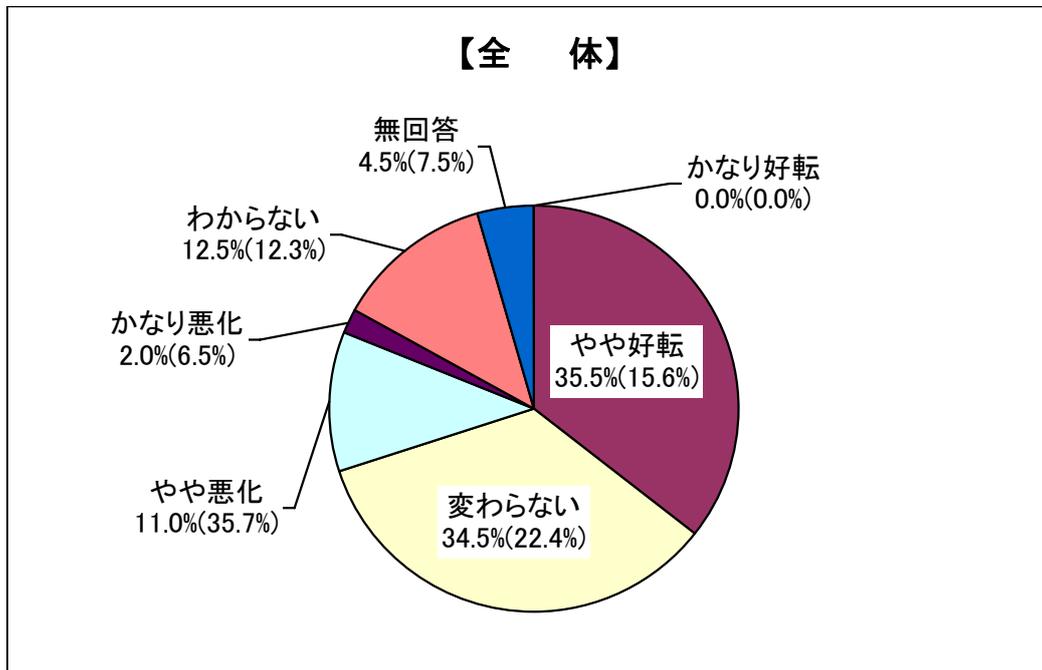


【役員・議員】は「わからない」が大幅に減少し、半数以上が来年から回復(既に回復しているを含む)と回答。【小規模企業】は依然として「わからない」と回答する企業が49.5%(対前年比-7.8)と大半を占めた。

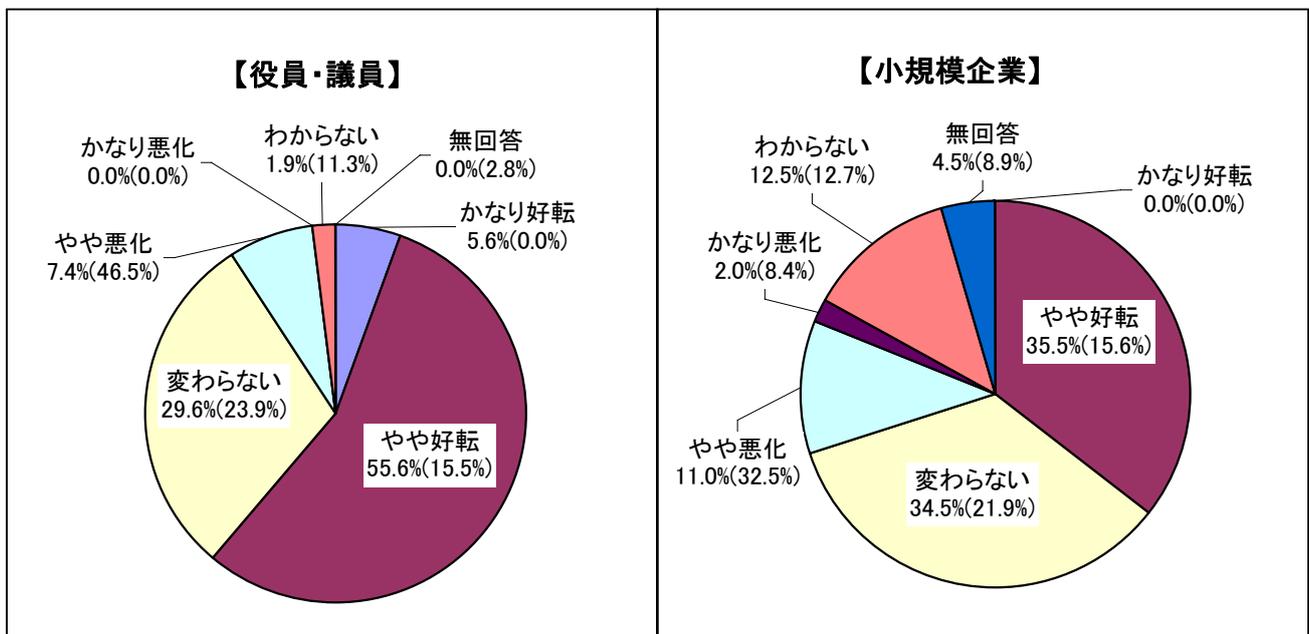
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 全 業 種



来年の全業種の動向については、「やや好転」が35.5%（対前年比+19.9）でトップ。次いで、「変わらない」が34.5%（対前年比+12.1）。産業全体としては、やや好転が現状維持を予測する割合が高くなってきている。「やや好転」が19.9ポイント増加し、「やや悪化」が24.7ポイント減少していることから、明るい兆しが見える結果となった。

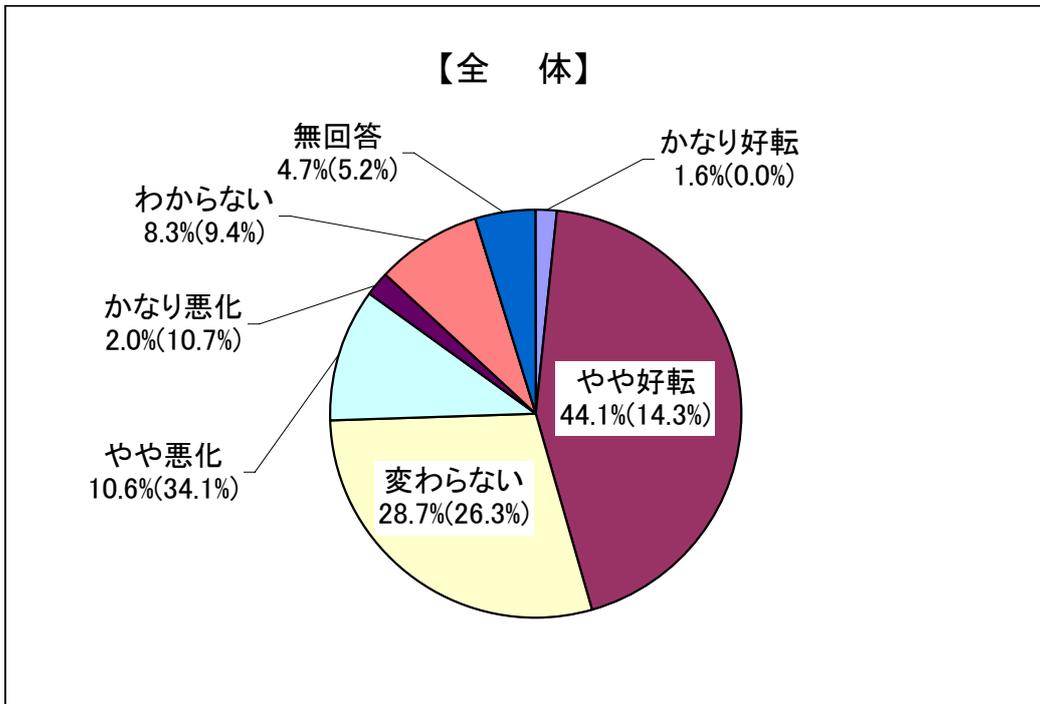


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」がトップだが、【役員・議員】は対前年比+40.1ポイントと大きく増加したのに対し、【小規模企業】は+19.9ポイントの伸びにとどまり、企業規模によって回復感に差が出た結果となった。

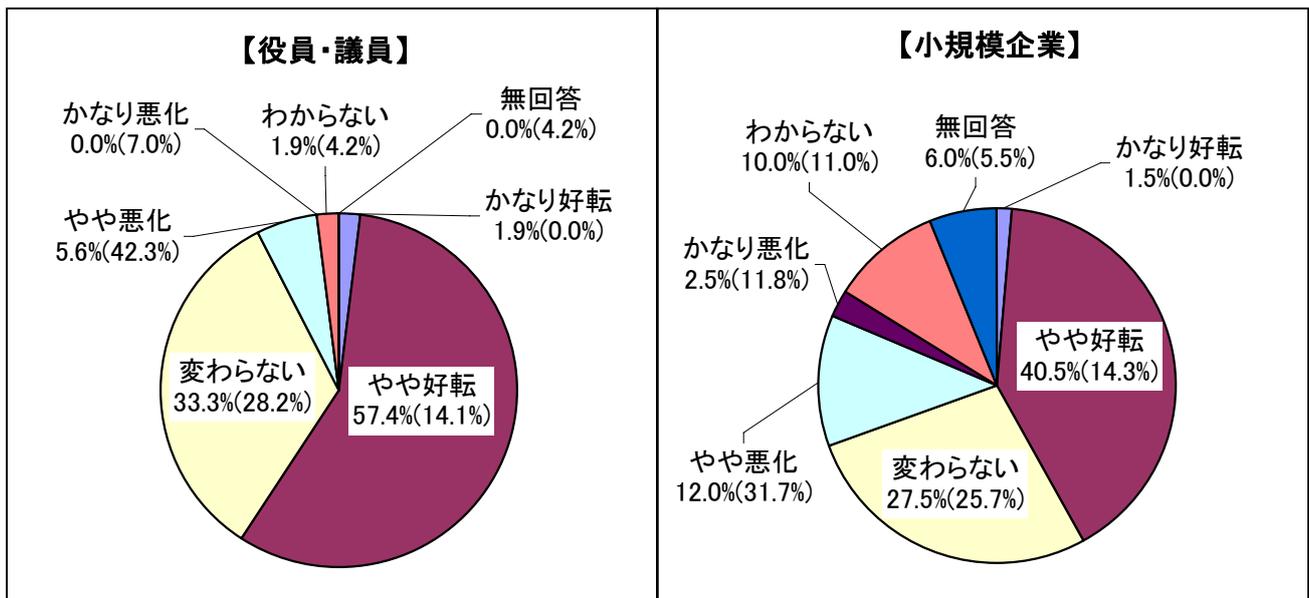
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 製 造 業



来年の製造業の動向については、「やや好転」が44.1%（対前年比+29.8）でトップ。次いで「変わらない」28.7%（対前年比+2.4）、「やや悪化」10.6%（対前年比-23.5）と続いた。「やや好転」が29.8ポイント増加し、「やや悪化」が23.5ポイント減少したことで明るい兆しが見える結果となった。

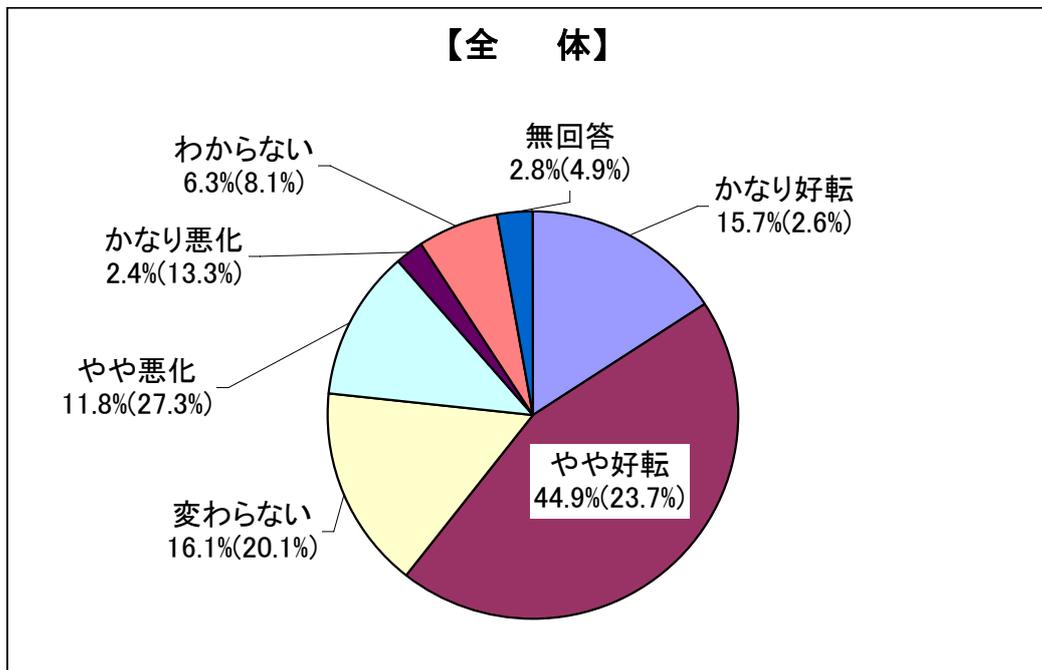


【役員・議員】【小規模企業】どちらも、「好転」の割合が大幅に増加し、「悪化」の割合は減少している。特に【役員・議員】では、「悪化」と回答した企業は「やや悪化」の5.6%にとどまった。

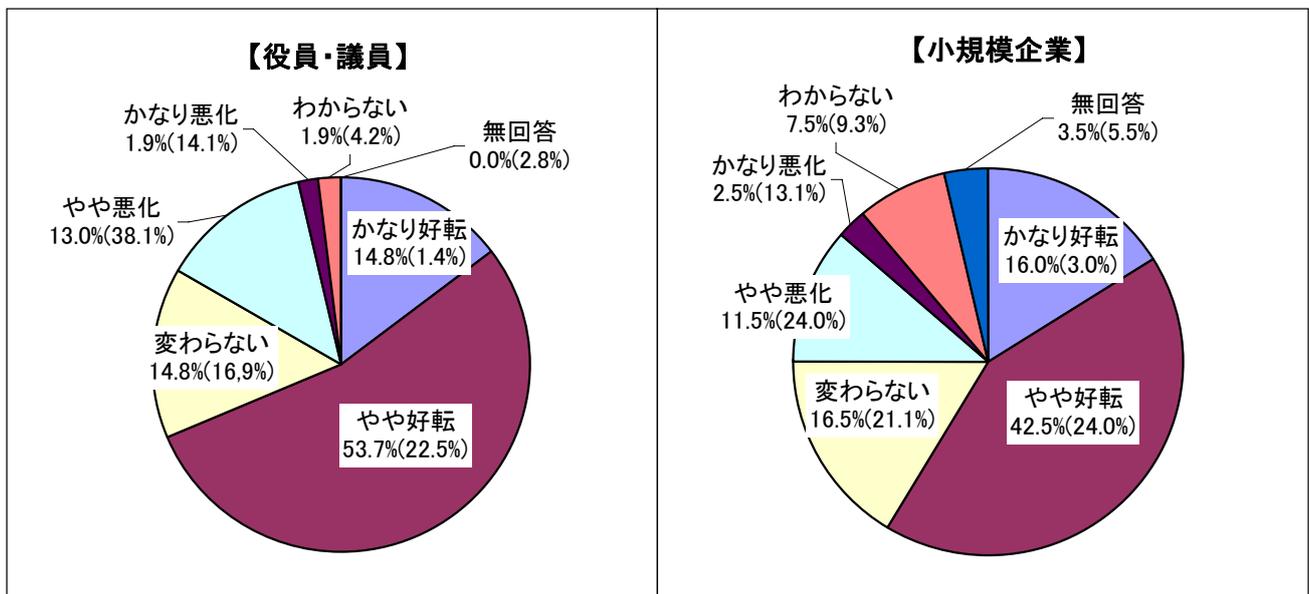
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 建設業

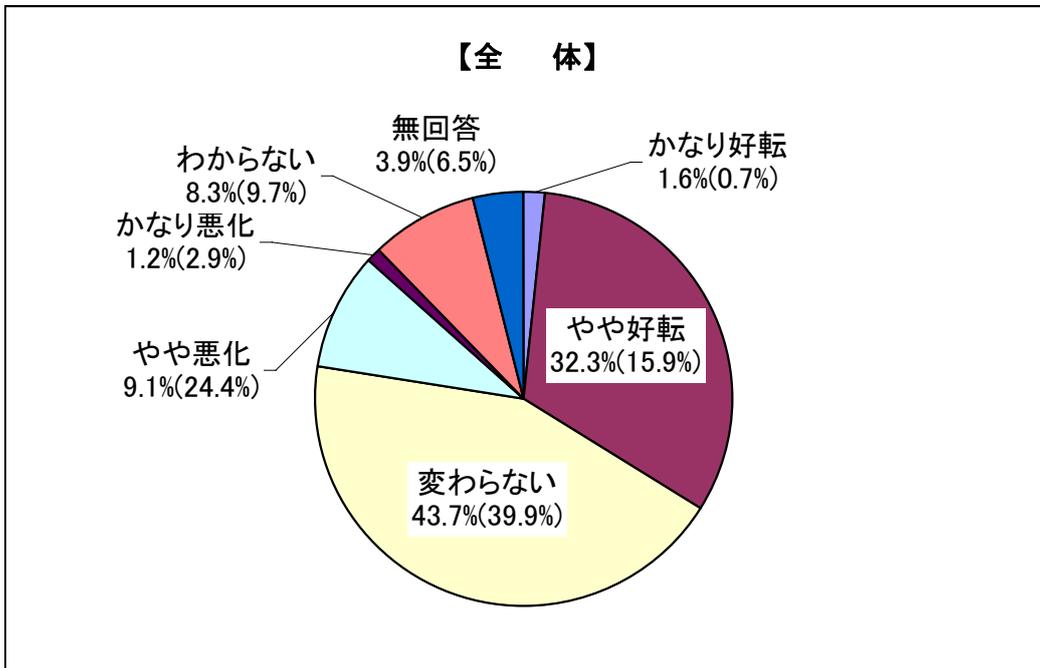


来年の建設業の動向については、「やや好転」が44.9%（対前年比+21.2）でトップ。次いで「変わらない」が16.1%（対前年比-4.0）となった。「好転」の割合が全体の60.6%（対前年比+34.3）を占めており、他業種に比べ好転予測が非常に高い結果となっている。

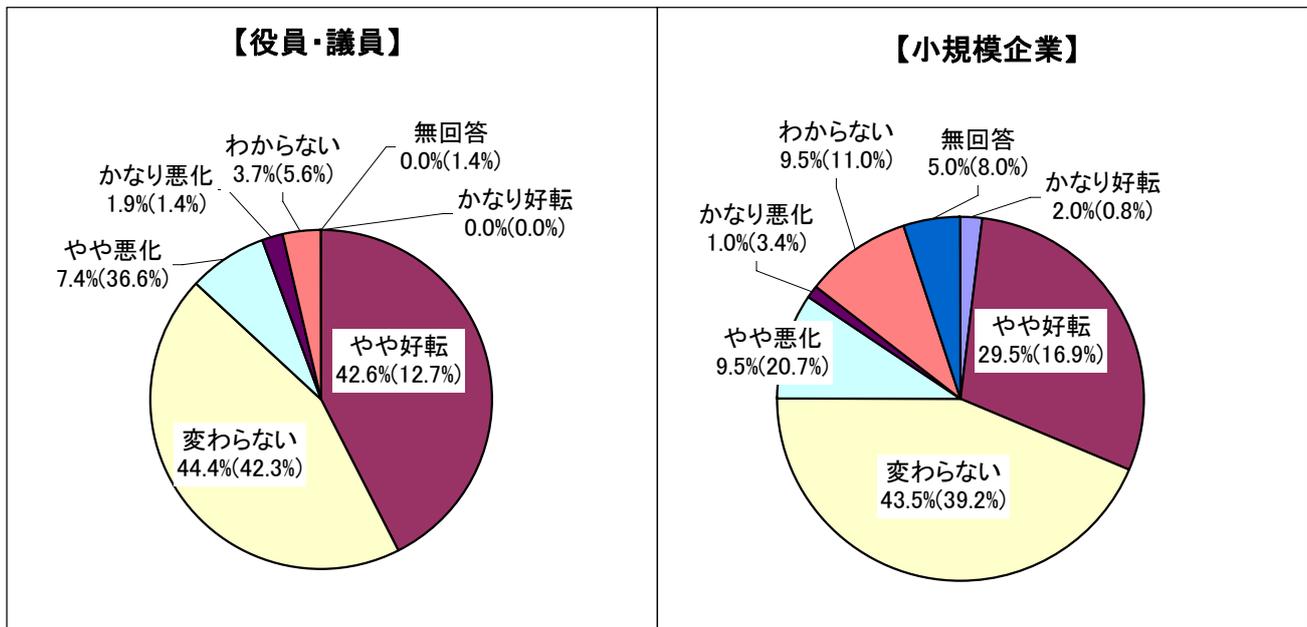


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」がトップで、それぞれ53.7%（対前年比+31.2）、42.5%（対前年比+18.5）であった。どちらも大幅に増加しており、企業規模に関係なく好転が予測されている。

運輸・通信業



来年の運輸・通信業の動向については、「変わらない」が43.7%（対前年比+3.8）で前年に引き続きトップとなったが、「好転」が3割を超す（対前年比+17.3）結果となった。「好転」が増加、「悪化」が減少しており、好転傾向を示す結果となった。

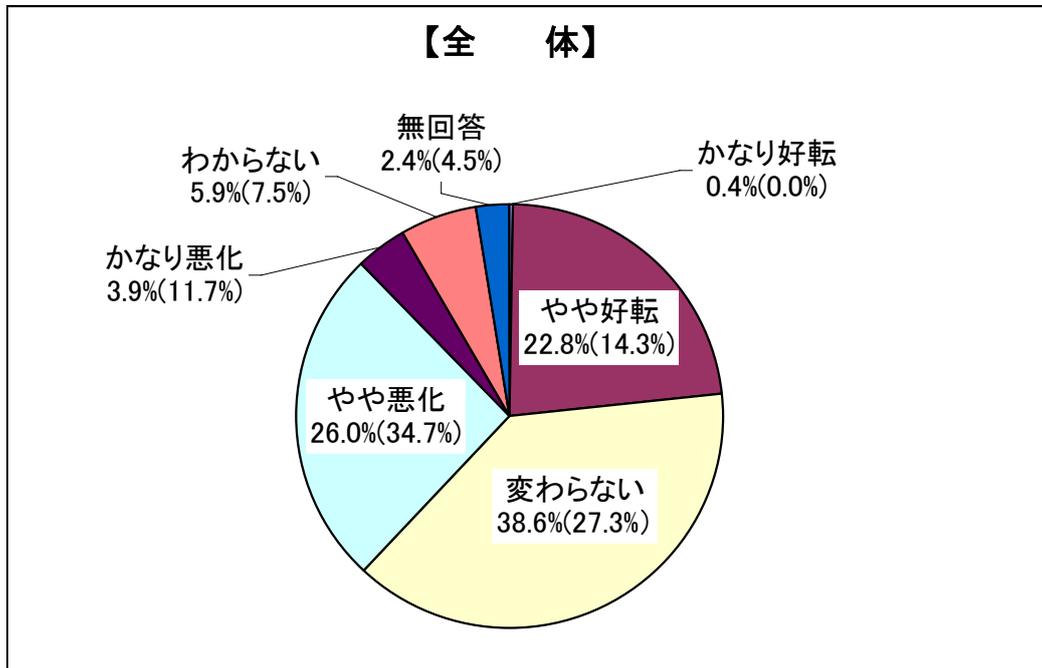


【役員・議員】【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。それぞれ、44.4%（対前年比+2.1）、43.5%（対前年比+4.3）。しかし、【役員・議員】では僅差で「やや好転」が42.6%（対前年比+29.9）、【小規模企業】でも「やや好転」が29.5%（対前年比+12.6）となっており、好転予測が昨年よりも高くなっている。

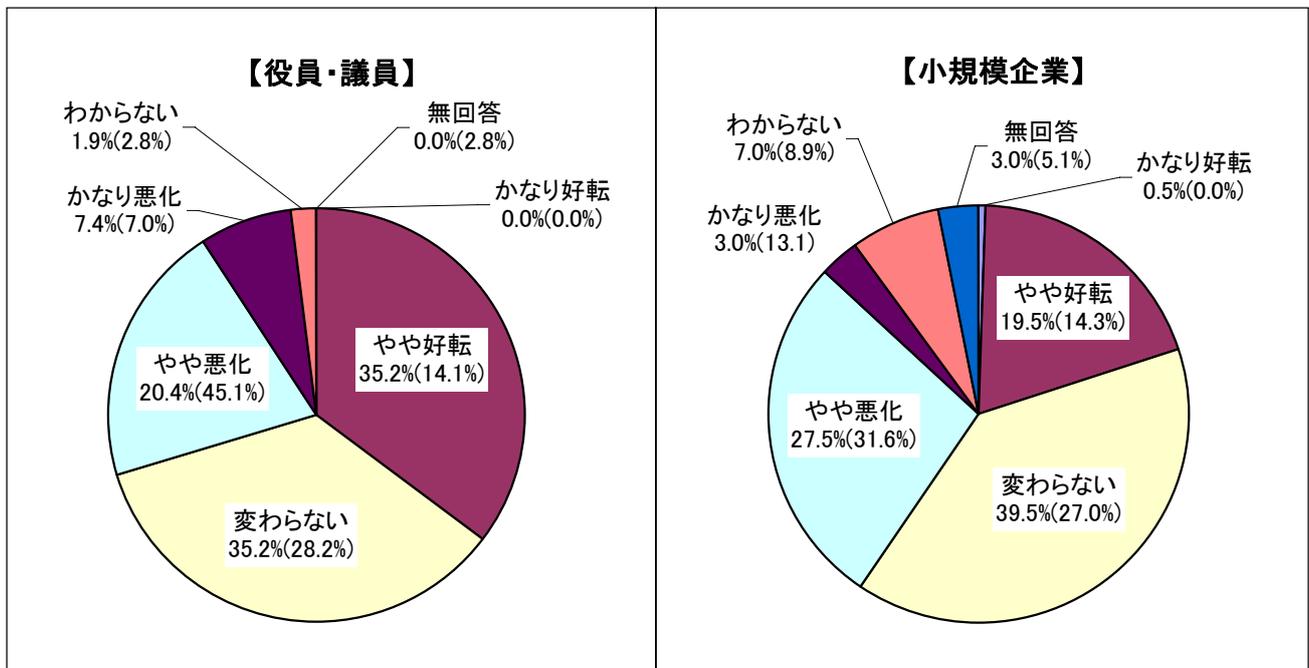
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 卸売・小売業



来年の卸売・小売業の動向については、「変わらない」が38.6%（対前年比+11.3）でトップ。次いで、「やや悪化」が26.0%（対前年比-8.7）、「やや好転」が22.8%（対前年比+8.5）となった。前年に比べ「好転」と回答する企業は増加しているが、「変わらない」の割合も増加しており、依然として悪化予測割合は高くなっている。

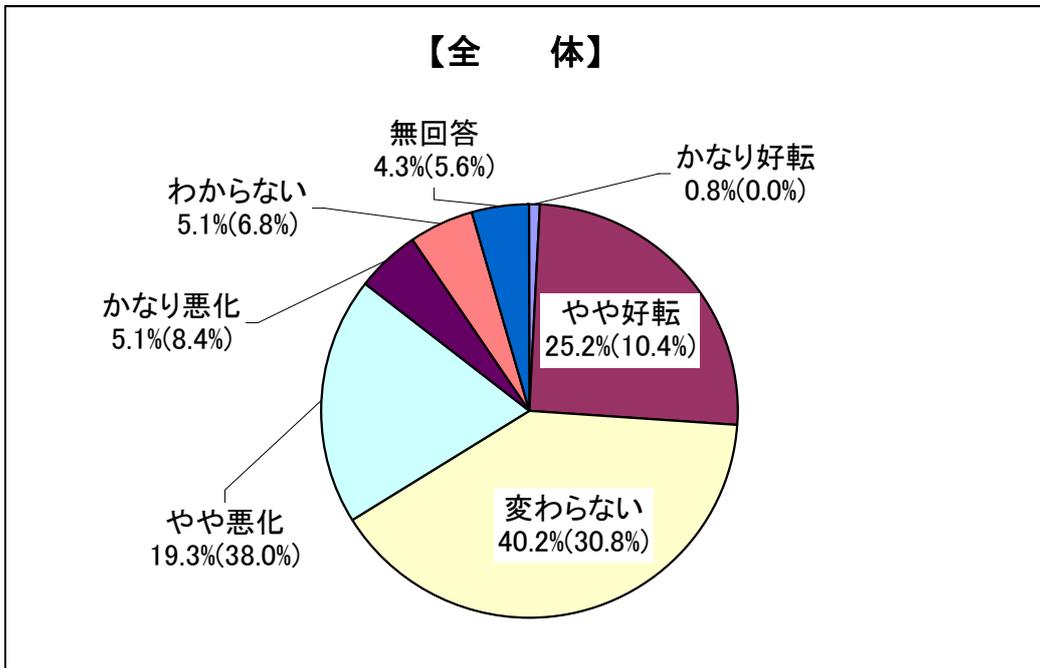


【役員・議員】は「やや好転」及び「変わらない」がトップで、それぞれ35.2%（対前年比+21.1）、35.2%（対前年比+7）となった。また、【小規模企業】は「変わらない」がトップで、39.5%（対前年比+12.5）となった。【役員・議員】の「やや悪化」が大幅に減少した（対前年比-24.7）のに対し、【小規模企業】は若干の減少（対前年比-4.1）にとどまった。

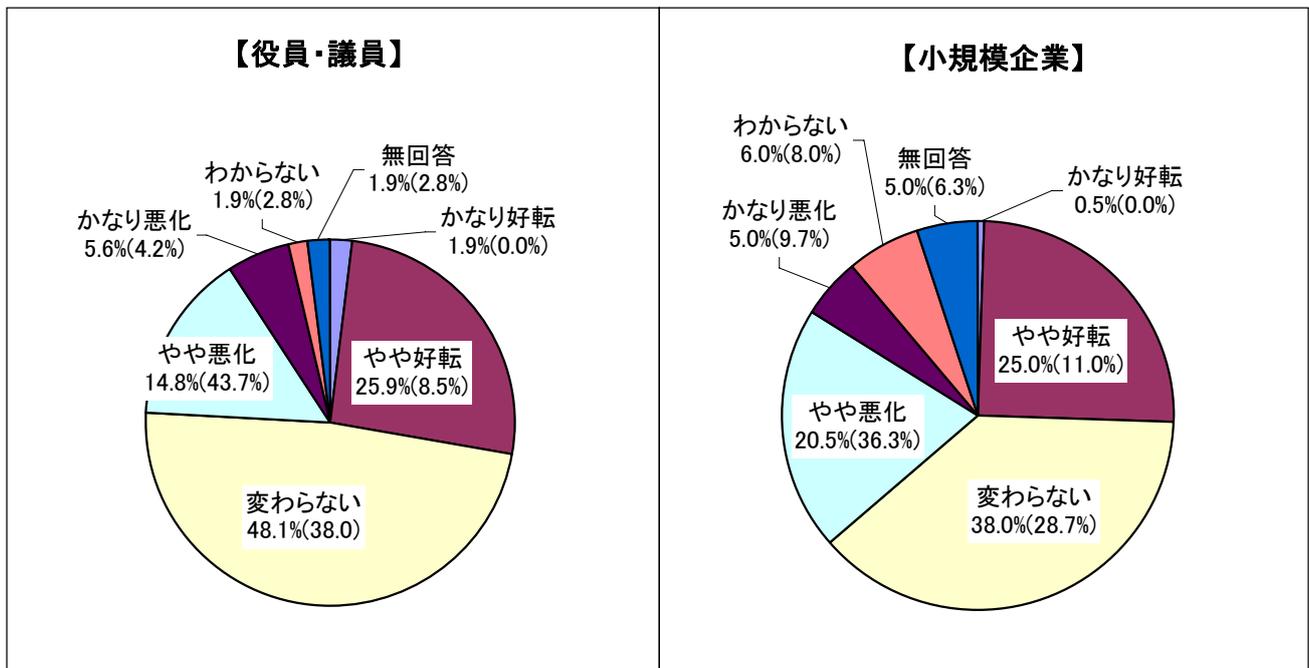
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 飲食業



来年の飲食業の動向については、「変わらない」が40.2%(対前年比+9.4)でトップ。次いで、「やや好転」が25.2%(対前年比+14.8)、「やや悪化」19.3%(対前年比-18.7)となった。前年に比べ、「悪化」と回答する企業が大幅に減少し、「好転」「変わらない」と回答する割合が増加した。

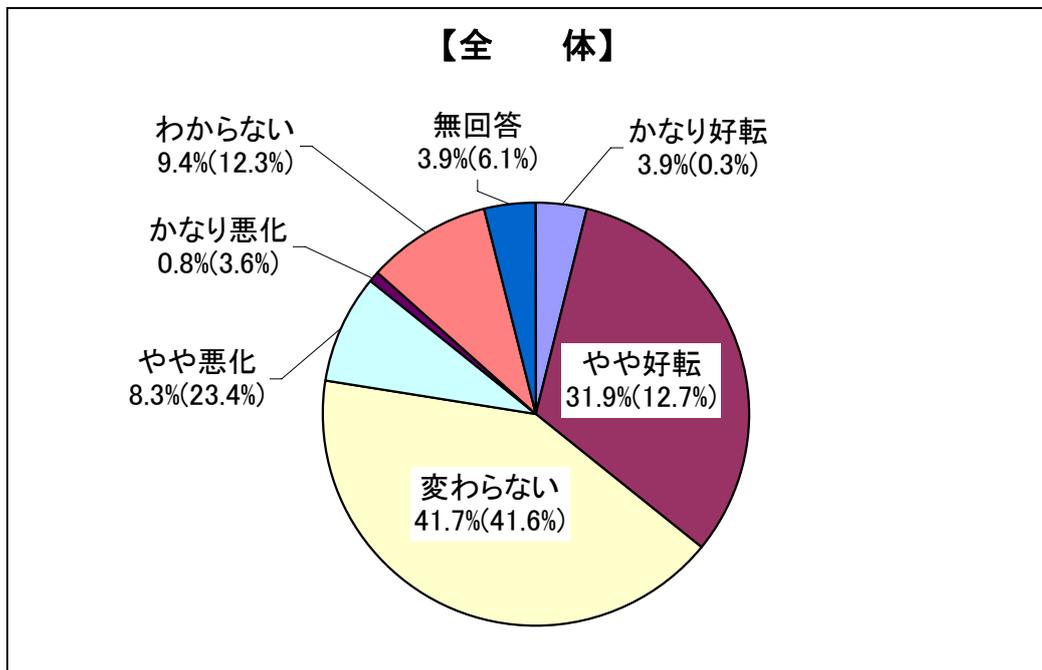


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ48.1%(対前年比+10.1)、38.0%(対前年比+9.3)となった。【役員・議員】では「やや悪化」が14.8%(対前年比-28.9)と大幅に減少した。

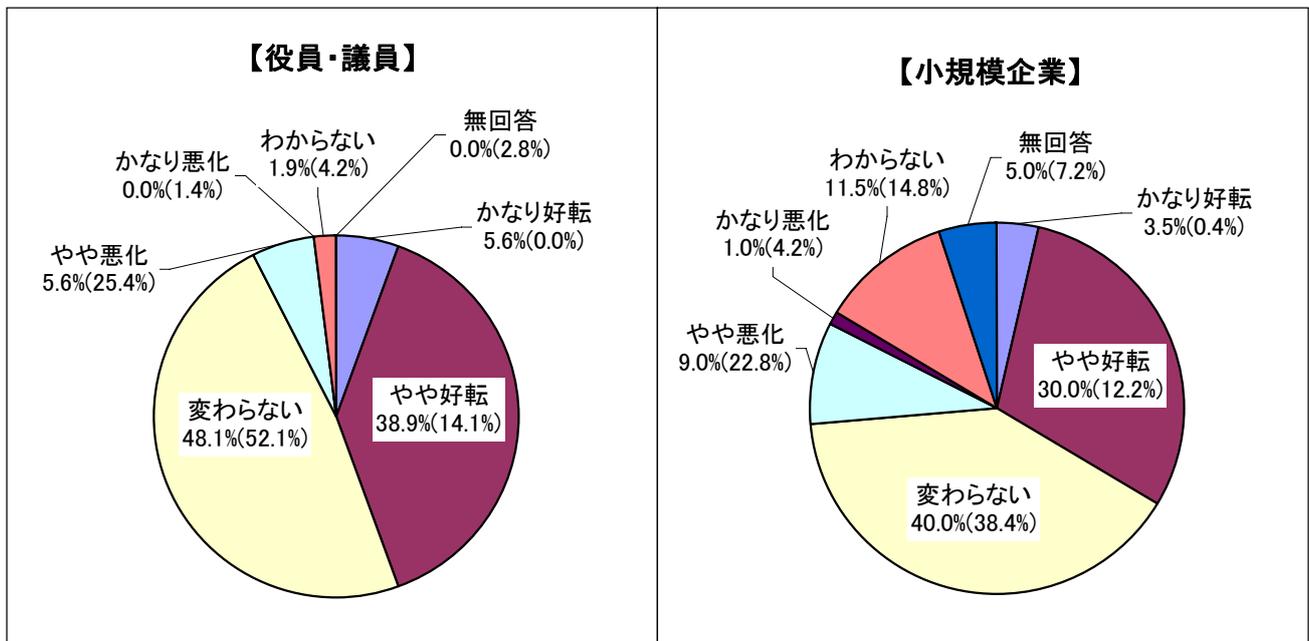
# 2014年 産業別動向

※ グラフの( )内は、前年数値

## 金融・保険業

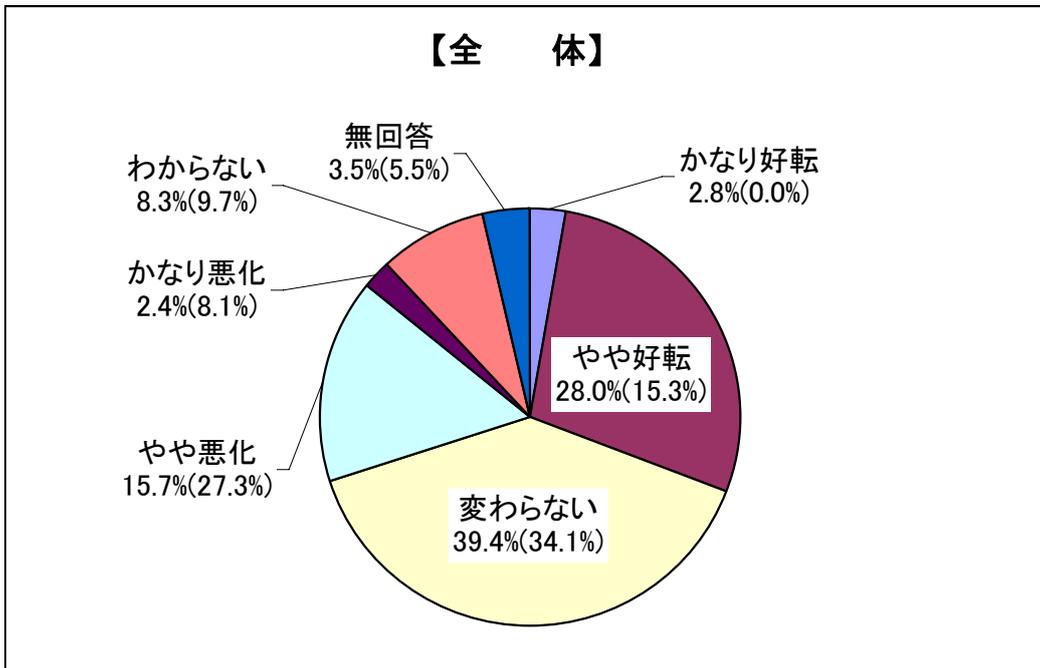


来年の金融・保険業の動向については、「変わらない」が41.7%（対前年比+0.1）で昨年、一昨年と同様にトップとなった。次いで、「やや好転」が31.9%（対前年比+19.2）。前年に続き「変わらない」の割合がトップではあるが、「悪化」の割合が減少し、「好転」の割合が増加している。

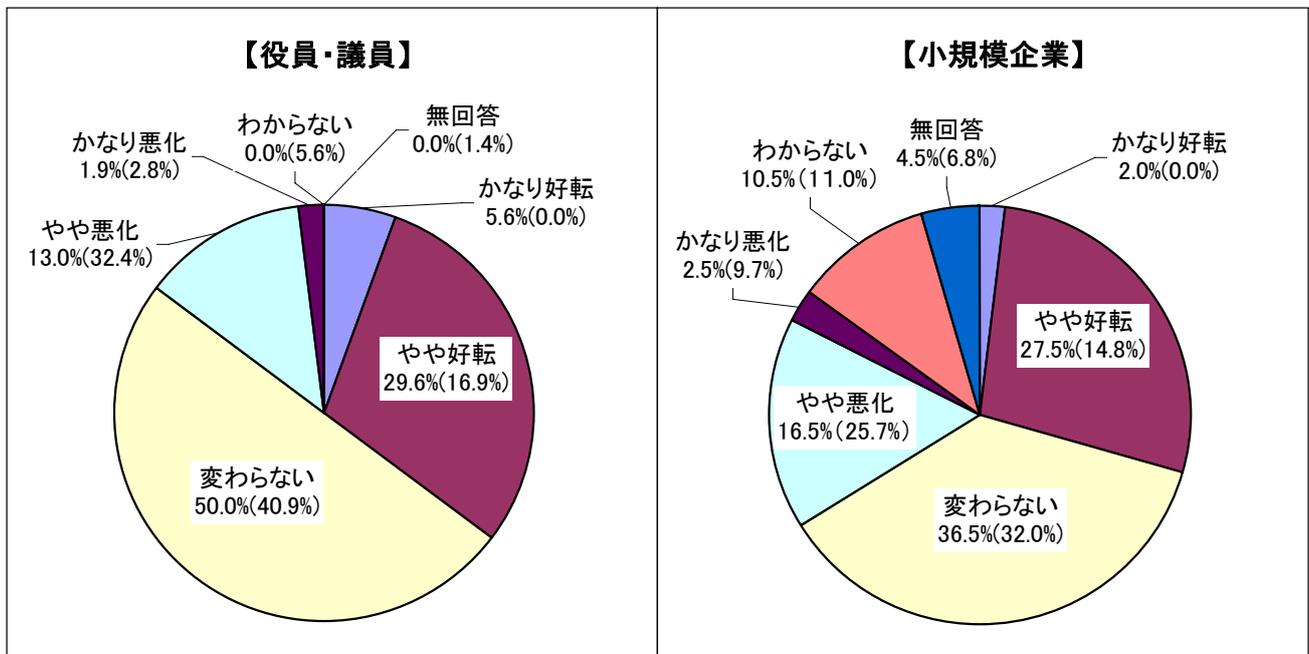


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ48.1%（対前年比-4.0）、40.0%（対前年比+1.6）。【役員・議員】では、「好転」が対前年比+30.4ポイントと大幅に増加し、「悪化」は対前年比-21.2ポイントと大幅に減少している。

サービス業



来年のサービス業の動向については、「変わらない」が39.4%(対前年比+5.3)で昨年、一昨年に引き続きトップ。次いで、「やや好転」が28.0%(対前年比+12.7)、「やや悪化」が15.7%(対前年比-11.6)と続いた。昨年に続き「変わらない」がトップではあるが、「好転」の割合が「悪化」の割合を上回った。

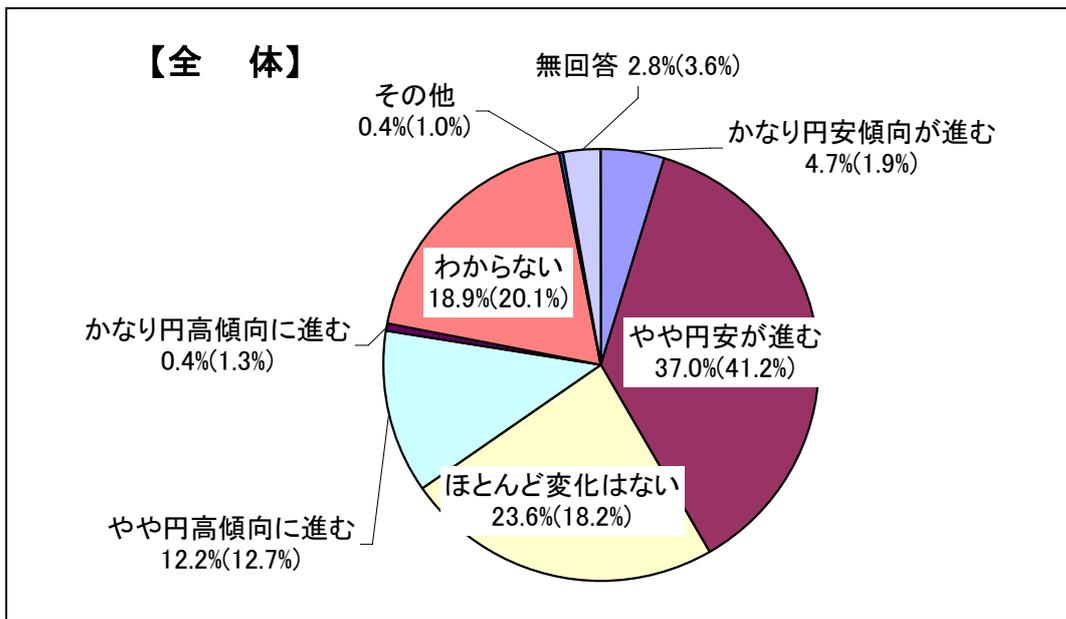


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ50.0%(対前年比+9.1)、36.5%(対前年比+4.5)。企業規模にかかわらず「(かなり、やや)好転」の割合が増加し、反対に「悪化」の割合は減少している。

## 円市場予測

※ グラフの( )内は、前年数値

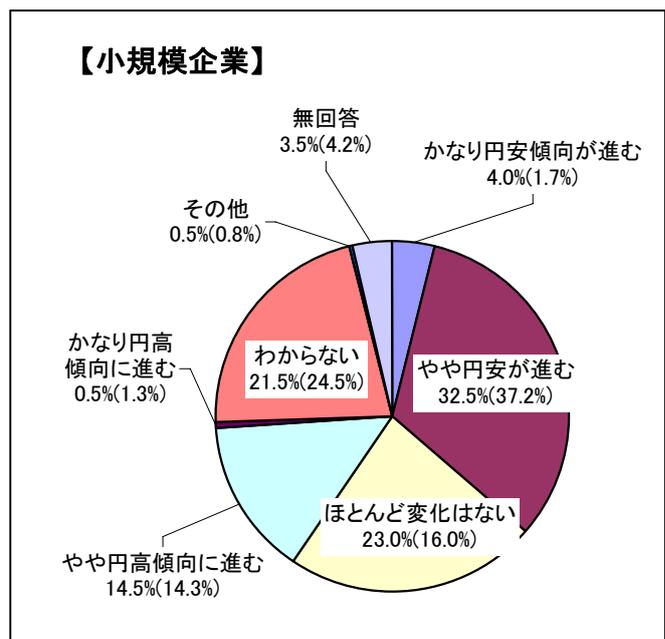
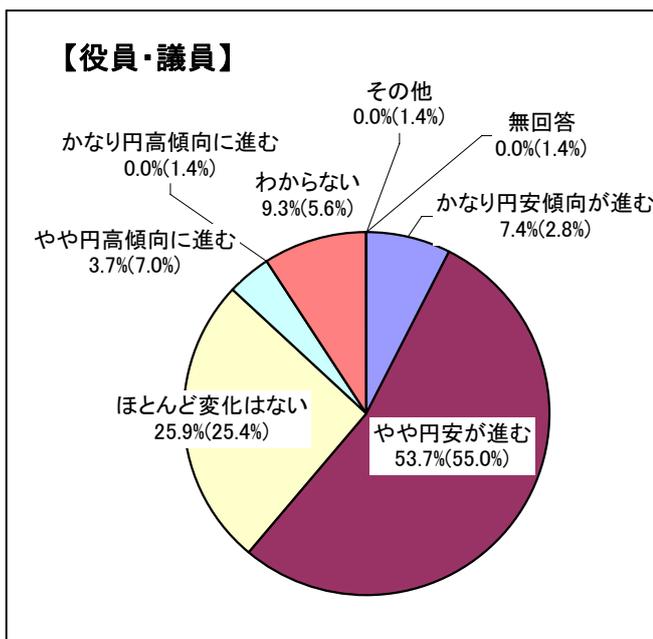
「やや円安」が 37.0%、「ほとんど変化はない」が 23.6% (4割が「円安」と予測)



円市場の推移予測は、「やや円安」が 37.0%(対前年比-4.2)、次いで「ほとんど変化はない」が 23.6%(対前年比+5.4)となった。「かなり円安」と「やや円安」を合わせると 41.7%(対前年比-1.4)となり、昨年に引き続きやや円安傾向が進む予測となった。

## 規模別の円市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がトップ

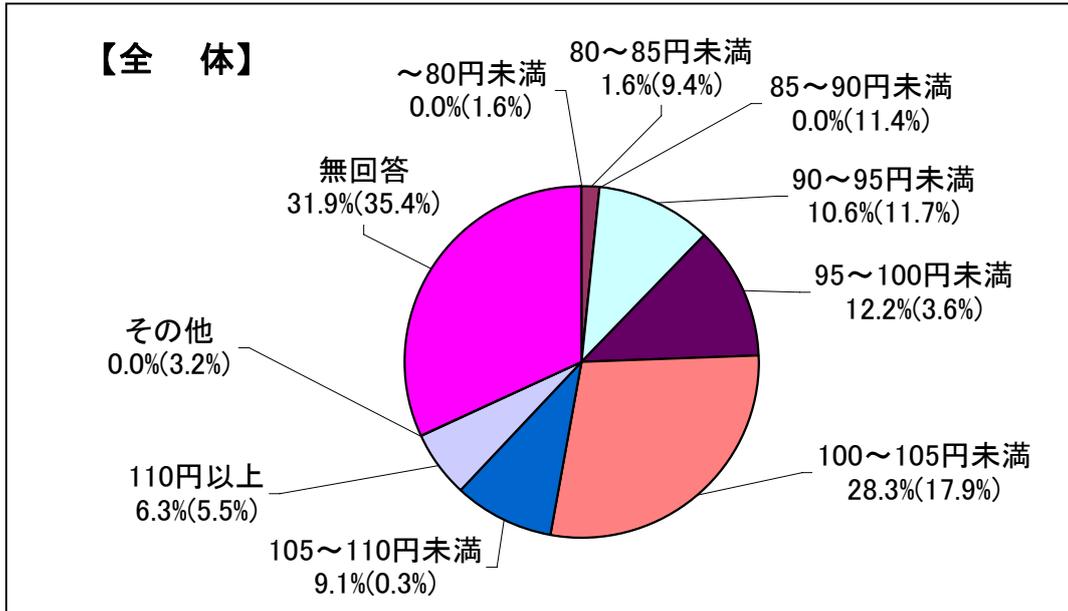


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がそれぞれ 53.7%(対前年比-1.3)、32.5%(対前年比-4.7)でトップとなり、【役員・議員】では6割超が「円安傾向が進む」と予測する結果となった。

## 望ましい為替水準

※ グラフの( )内は、前年数値

「100～105円未満」が28.0%でトップ、次いで「95～100円未満」で11.4%

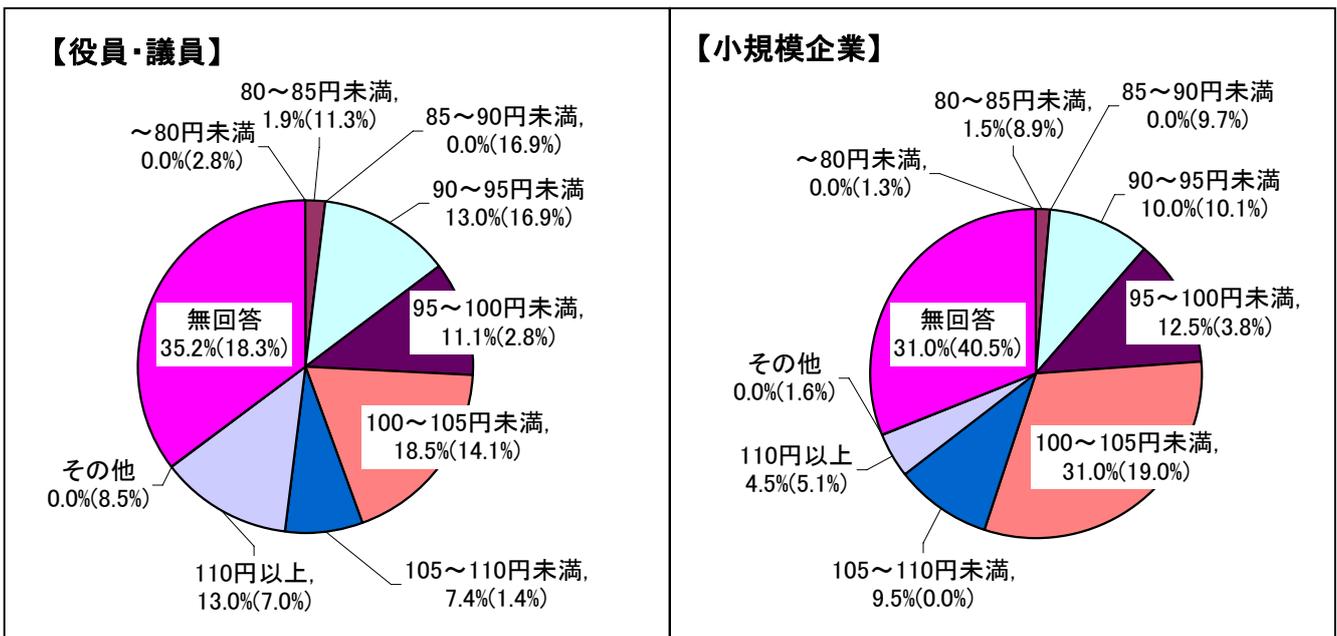


調査票記載の参考為替（終値ベース、10月11日～11月11日）  
東京外国為替円(ドル=円) [始値] 98.19 [高値] 98.55 [安値] 97.82 [終値] 98.21

企業にとっての望ましい為替水準は、「100～105円未満」が28.3%（対前年比+10.4）で昨年に引き続きトップとなり、次いで「95～100円未満」が12.2%（対前年比+8.6）となった。トップに変わりはないものの、2位以降は入れ替わりが生じており、昨年に比べ、企業が望む為替水準は円安傾向が進んでいる。

## 規模別の望ましい為替水準

【役員・議員】【小規模企業】ともに「100～105円未満」がトップ

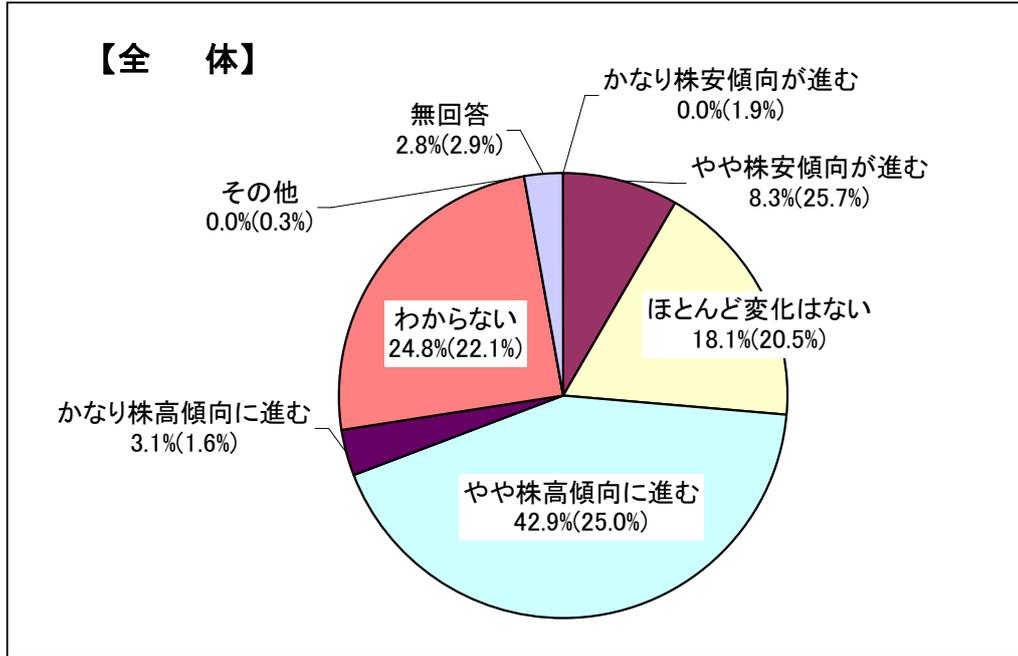


【役員・議員】【小規模企業】ともに「100～105円未満」がトップ。企業規模に関係なく円安水準を望む企業が多く、【小規模企業】では3割の企業が「100～105円未満」と回答した。

## 株式市場予測

※ グラフの( )内は、前年数値

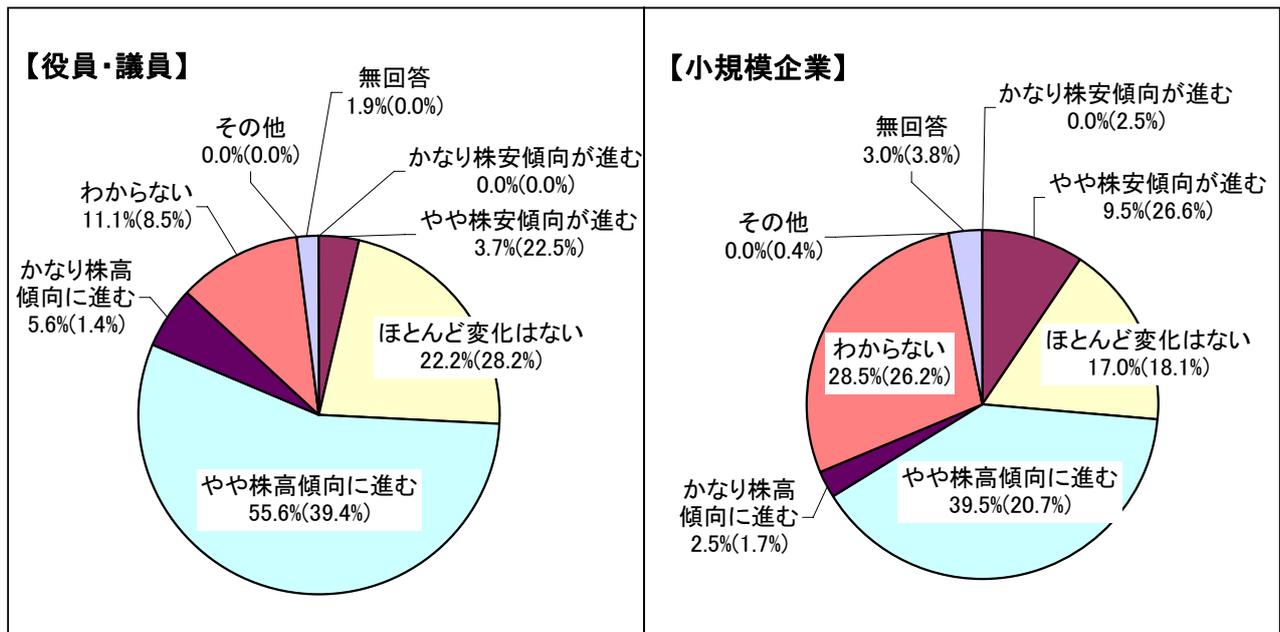
「やや株高傾向」が42.9%でトップ、次いで「ほとんど変化はない」で18.1%



株式市場の予測は、「やや株高」が42.9%（対前年比+17.9）でトップ。次いで「わからない」が24.8%（対前年比+2.7）。昨年は株安傾向と株高傾向の二つに予測が分かれたが、今年度は「やや株高傾向」が4割以上と予測が集中した。

## 規模別の株式市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや株高傾向に進む」がトップ

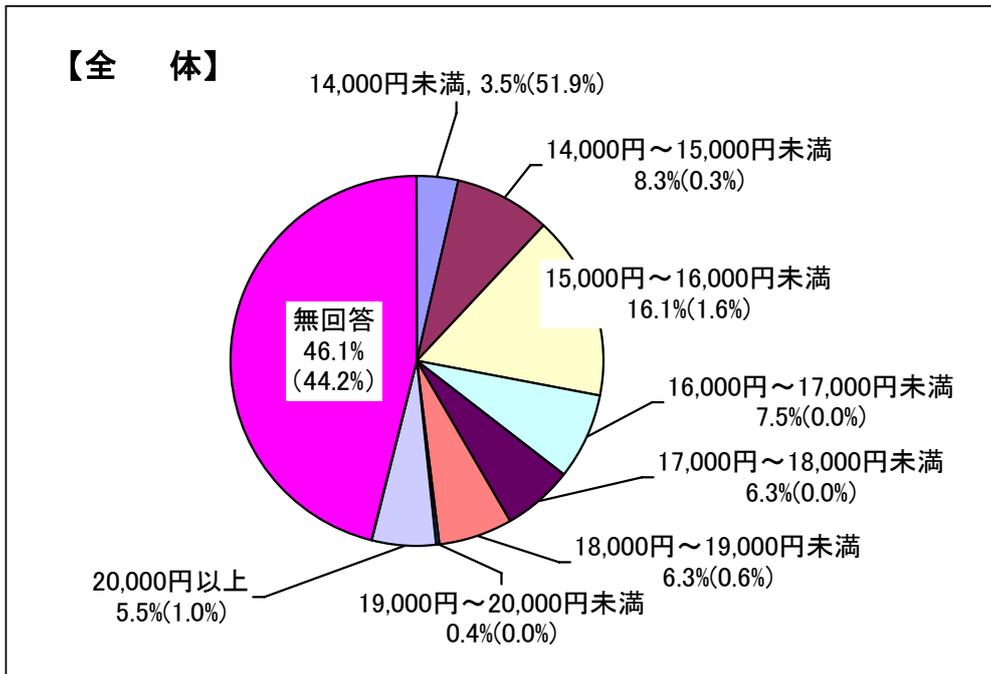


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや株高傾向」がトップで、それぞれ55.6%（対前年比+16.2）と39.5%（対前年比+18.8）。特に【役員・議員】では、6割が株高傾向と予測している。

## 望ましい株価水準

※ グラフの( )内は、前年数値

「15,000円～16,000円未満」が16.1%でトップ

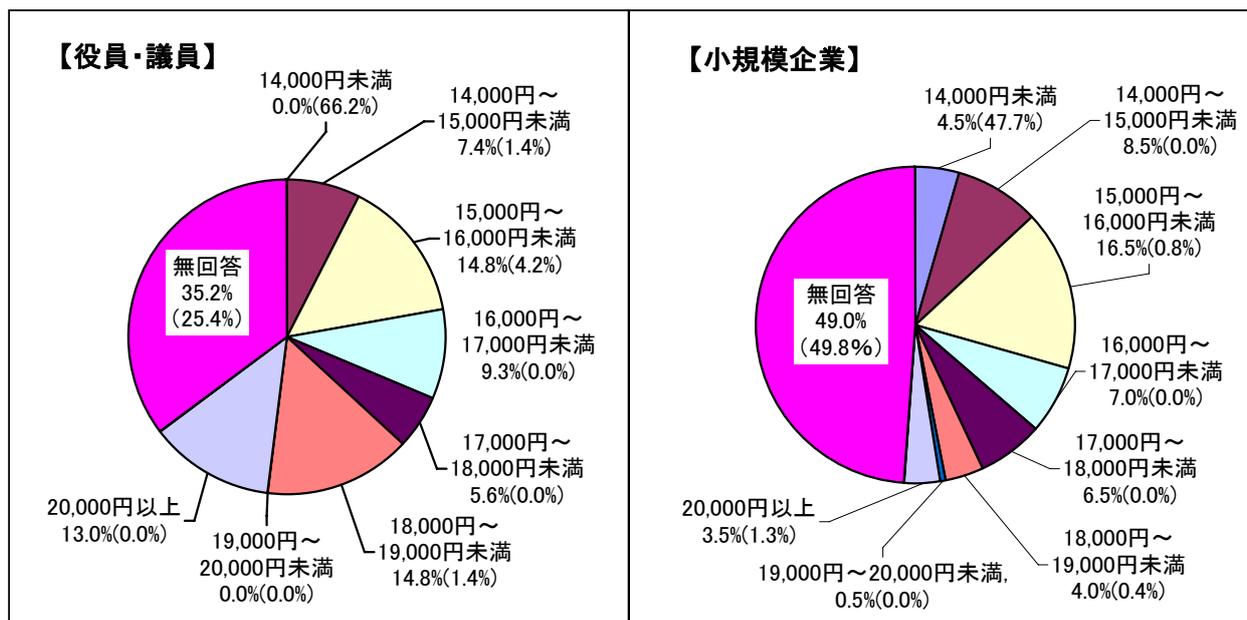


調査票記載の参考株価（終値ベース、10月11日～11月11日）  
国内株式 日経平均(円) [始値] 14,422.01 [高値] 14,486.10 [安値] 14,311.36 [終値] 14,388.52

望ましい株価水準は、「15,000円～16,000円未満」が16.1%でトップ。次いで、「14,000円～15,000円未満」で8.3%。昨年調査時の日経平均株価は9,000円前後であったこともあり、昨年とは大きな違いが見られた。

## 規模別の望ましい株価水準

【役員・議員】は「15,000円～16,000円未満」及び「18,000円～19,000円未満」がトップ  
【小規模企業】は「15,000円～16,000円未満」がトップ

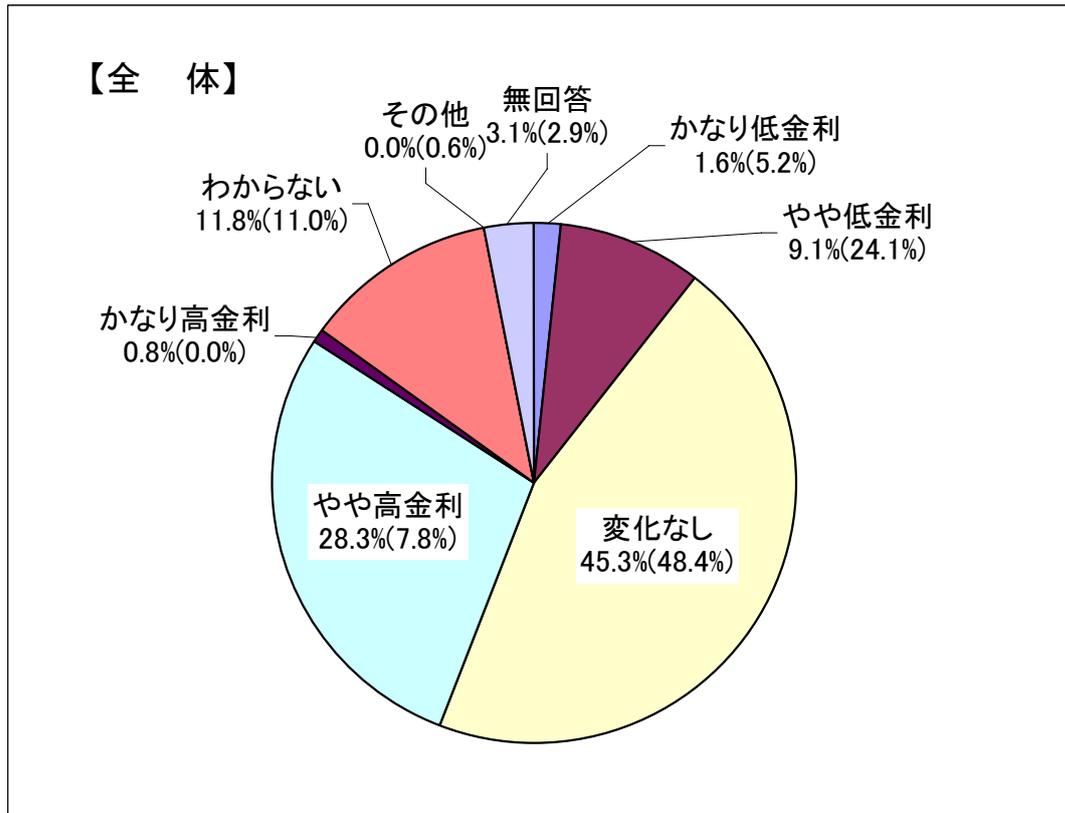


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「15,000円～16,000円未満」がトップであるが、【役員・議員】ではそれと同率で「18,000円～19,000円未満」もトップであることから、【役員・議員】のほうがさらに株高を望む結果となった。

## 金利予測

※ グラフの( )内は、前年数値

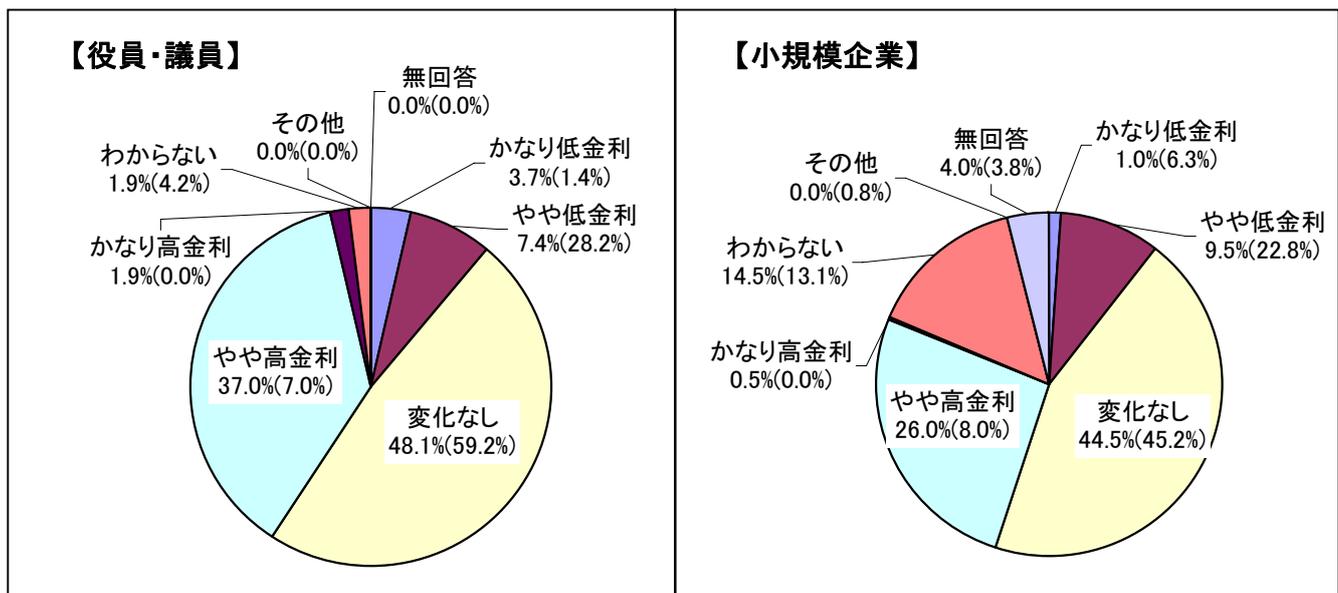
「変化なし」が45.3%でトップ、次いで「やや高金利」で28.3%



金利の推移予測では、「変化なし」が45.3%（対前年比－3.1）でトップ、次いで「やや高金利」が28.3%（対前年比＋20.5）。「やや低金利」と「やや高金利」が昨年と逆転する形となった。

## 規模別の金利予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップ

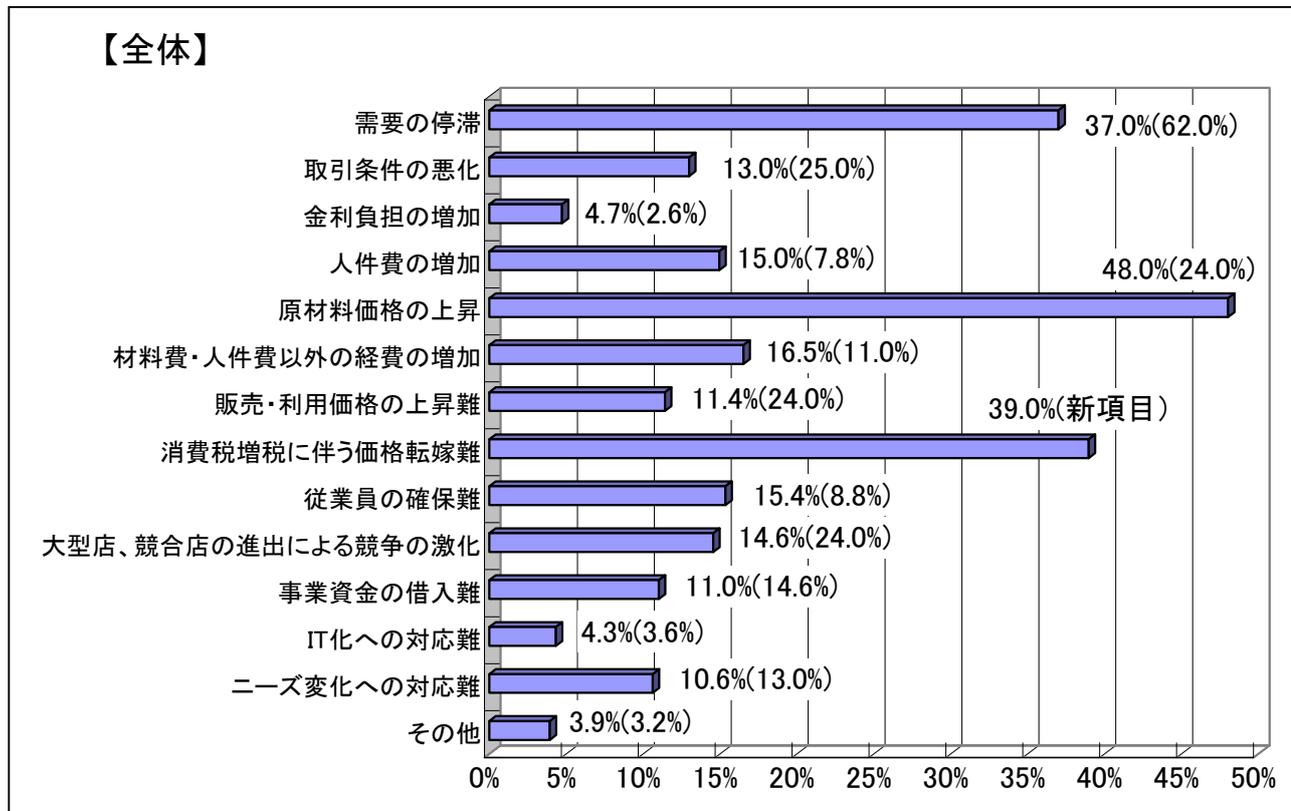


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップで、それぞれ48.1%（対前年比－11.1）と44.5%（対前年比－0.7）。次いで「やや高金利」が続き、どちらも「やや高金利」と「やや低金利」が逆転する形となった。

## 経営上の問題点

(複数回答) ※ グラフの( )内は、前年数値

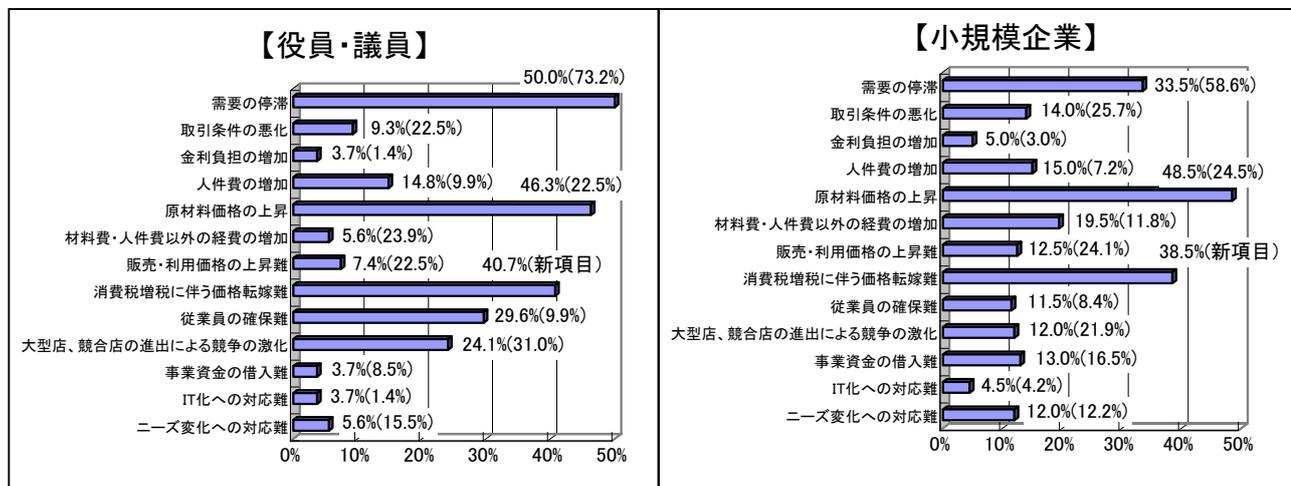
トップは「原材料価格の上昇」、次いで「消費税増税に伴う価格転嫁難」



経営上の問題点として最も多かったのは、「原材料価格の高騰」で48.0%(対前年比24.0%)。次いで今年度新しく追加した項目である「消費税増税に伴う価格転嫁難」で39.0%(新項目)。昨年トップの「需要の停滞」は大幅に減少し、37.0%(対前年比-25.0)にとどまった。

## 規模別の経営上の問題点

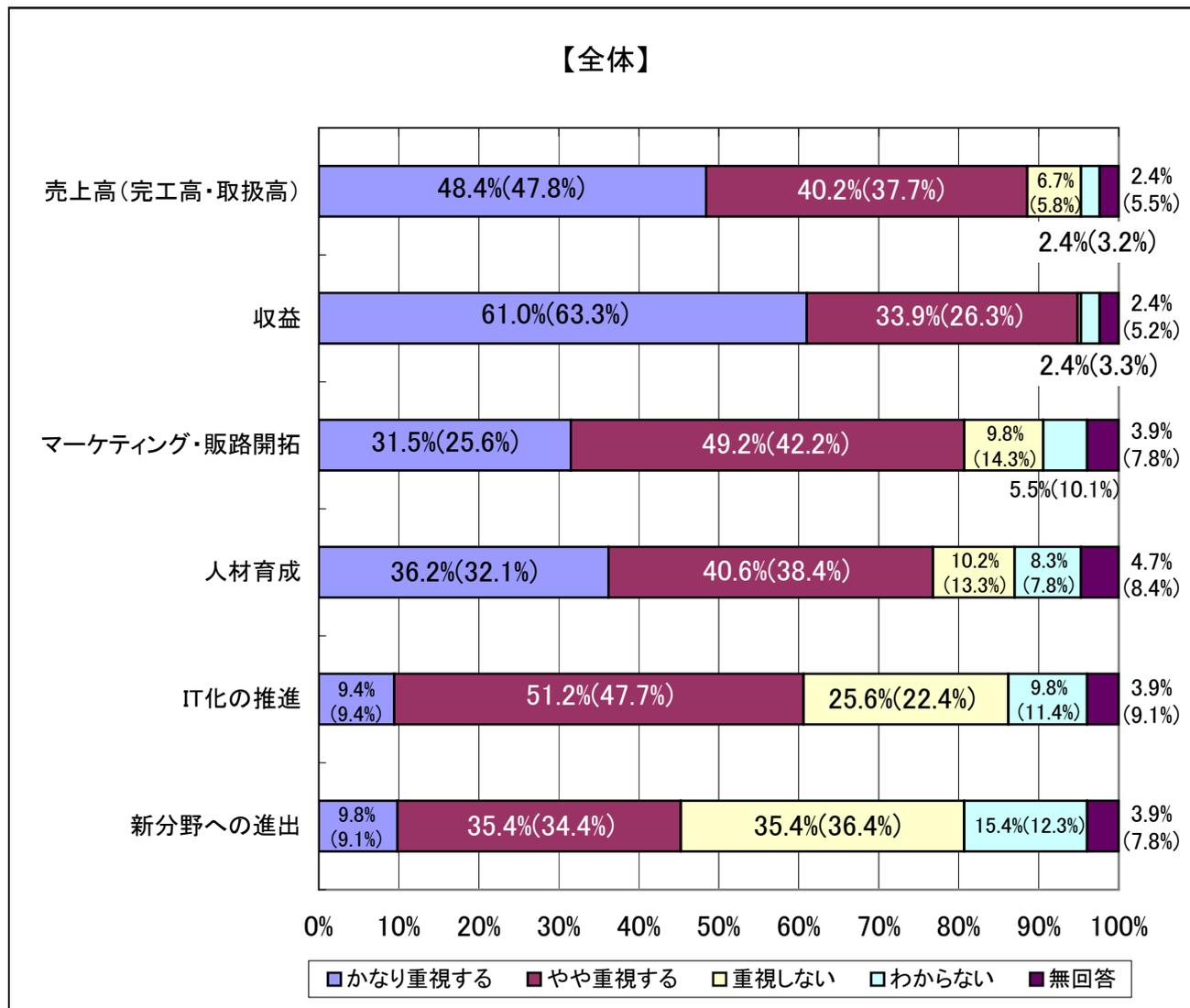
【役員・議員】は昨年同様「需要の停滞」がトップ、【小規模企業】は「原材料価格の上昇」がトップ



【役員・議員】は「需要の停滞」が昨年に引き続きトップ。一方、【小規模企業】は「原材料価格の上昇難」がトップとなった。しかし、ともに上位3項目は「需要の停滞」「原材料価格の上昇難」「消費税増税に伴う価格転嫁難」の3項目であった。

## 経営上の重視点

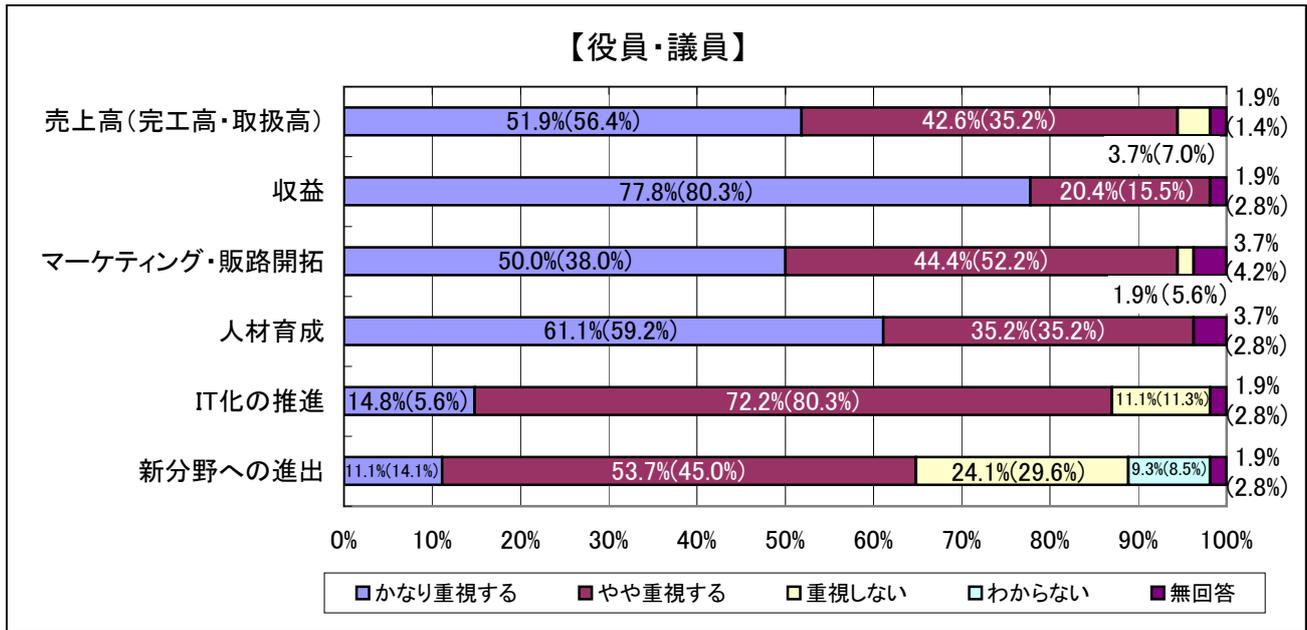
※ グラフの( )内は、前年数値



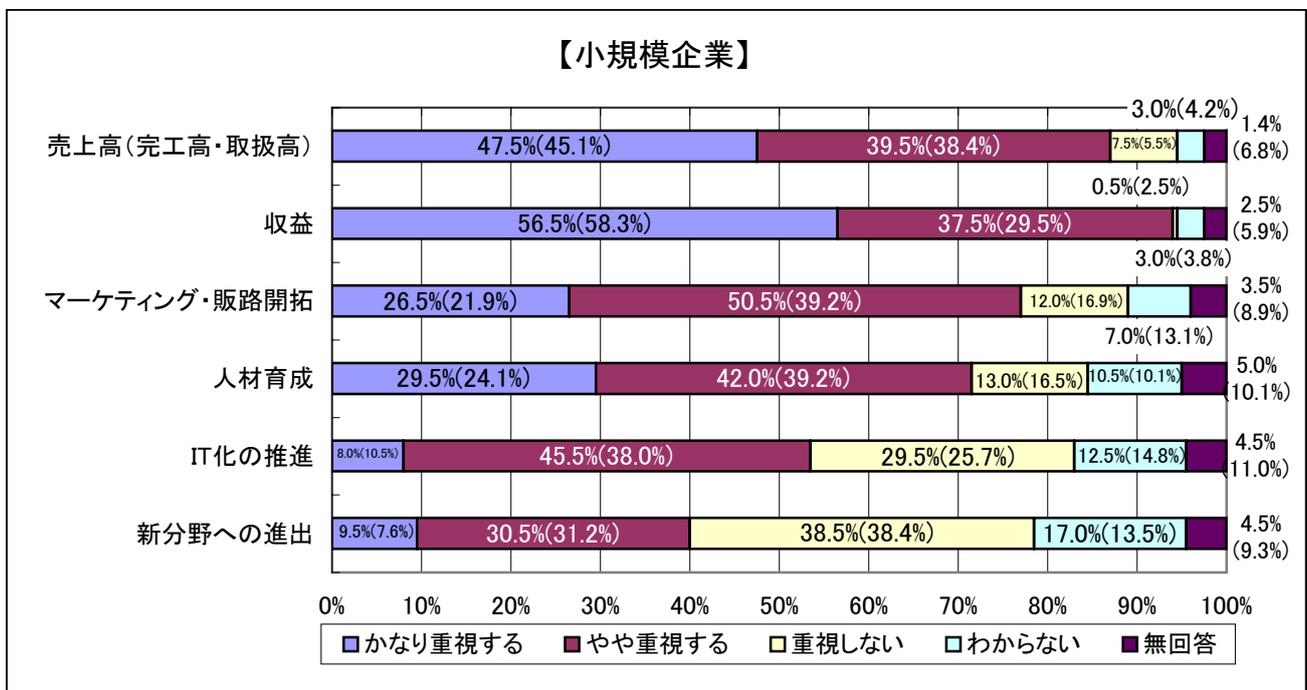
依然として、「売上高」「収益」を重視する傾向が強いが、「マーケティング・販路開拓」および「人材育成」を『重視する』と答えた企業はそれぞれ、80.7%(対前年比+12.9)、76.8%(対前年比+6.3)と昨年よりも増加している。

## 規模別の経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値



全体と同様に「収益」を「かなり重視する」と回答した企業が最も多く、次いで「人材育成」、「売上高」、「マーケティング・販路開拓」と続いた。

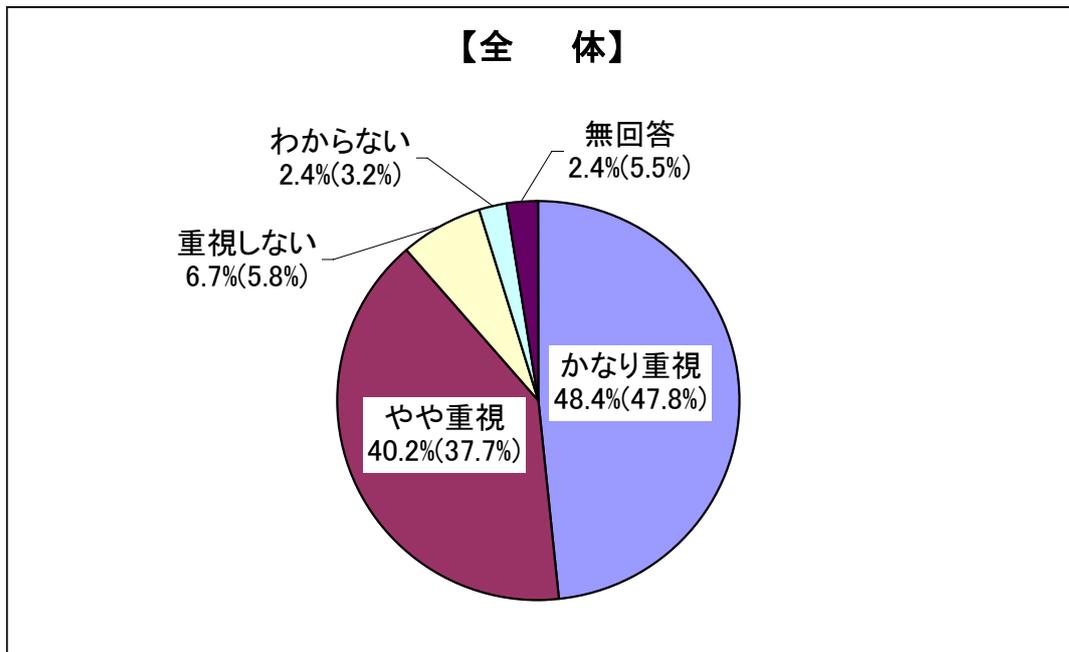


【役員・議員】に比べると低いものの、「マーケティング・販路開拓」「人材育成」を『重視する』企業が増加し、それぞれ77.0%(対前年比+15.9)、71.5%(対前年比+8.2)となった。

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

<売上高> トップは「かなり重視」 48.4%

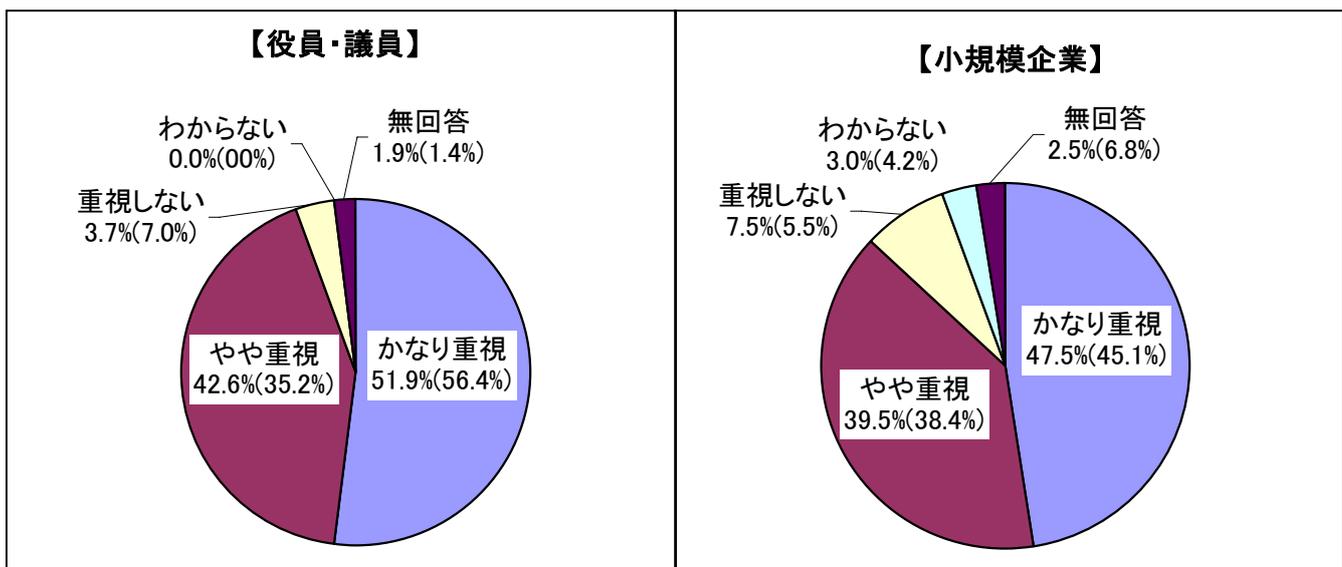


売上高については「かなり重視する」が48.4% (対前年比+0.6) でトップ。、次いで「やや重視する」が40.2% (対前年比+2.5)。「重視する」は88.6% (対前年比+3.1) で、昨年より若干増加した。

## 規模別の経営上の重視点

<売上高> トップは「かなり重視」 51.9%

<売上高> トップは「かなり重視」 47.5%

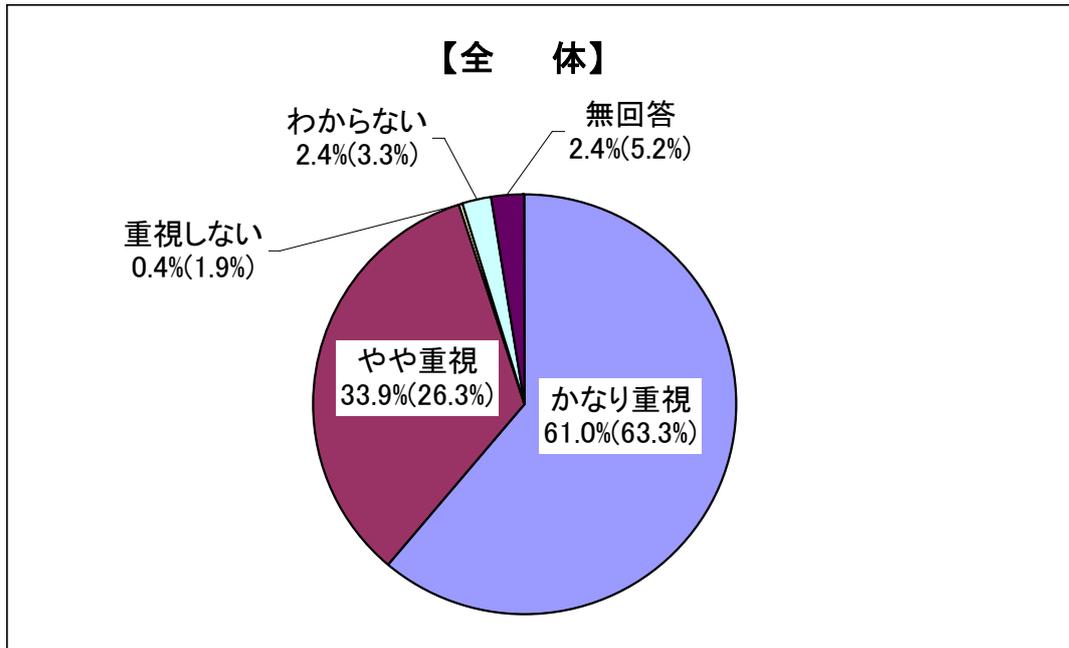


【役員・議員】は「重視する」が94.5% (対前年比+2.9)、【小規模企業】は87.0% (対前年比+3.5) となった。

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

＜収益＞ トップは「かなり重視」 61.0%

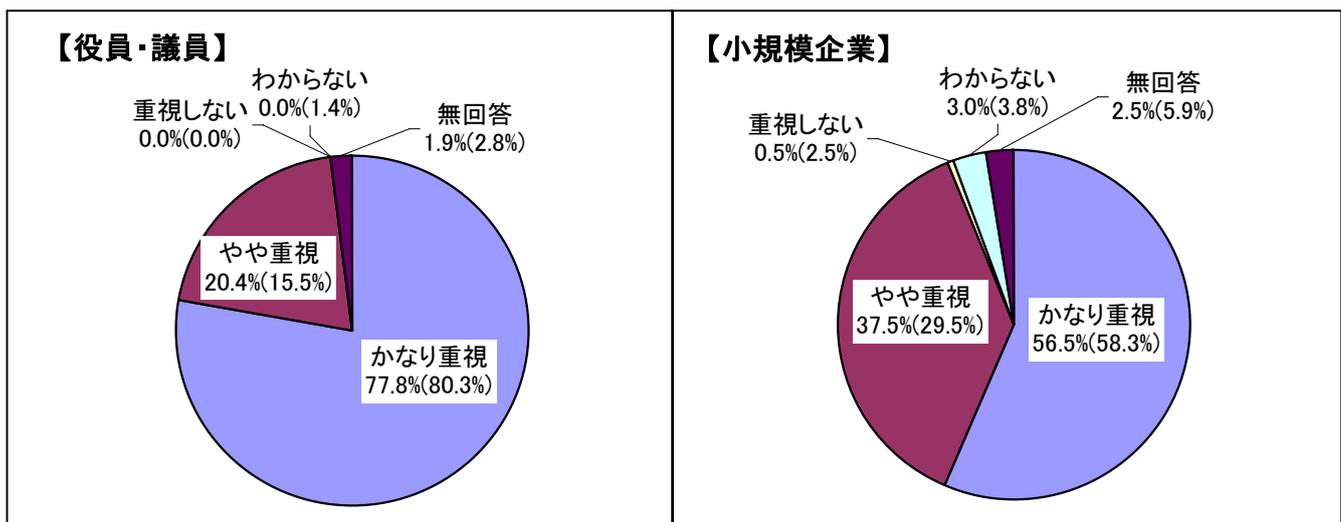


「かなり重視する」が61.0%(対前年比-2.3)、「やや重視する」が33.9%(対前年比+7.6)で「重視する」が94.9%となり、対前年比 +5.3ポイントとなった。

## 規模別の経営上の重視点

＜収益＞ トップは「かなり重視」 77.8%

＜収益＞ トップは「かなり重視」 56.5%

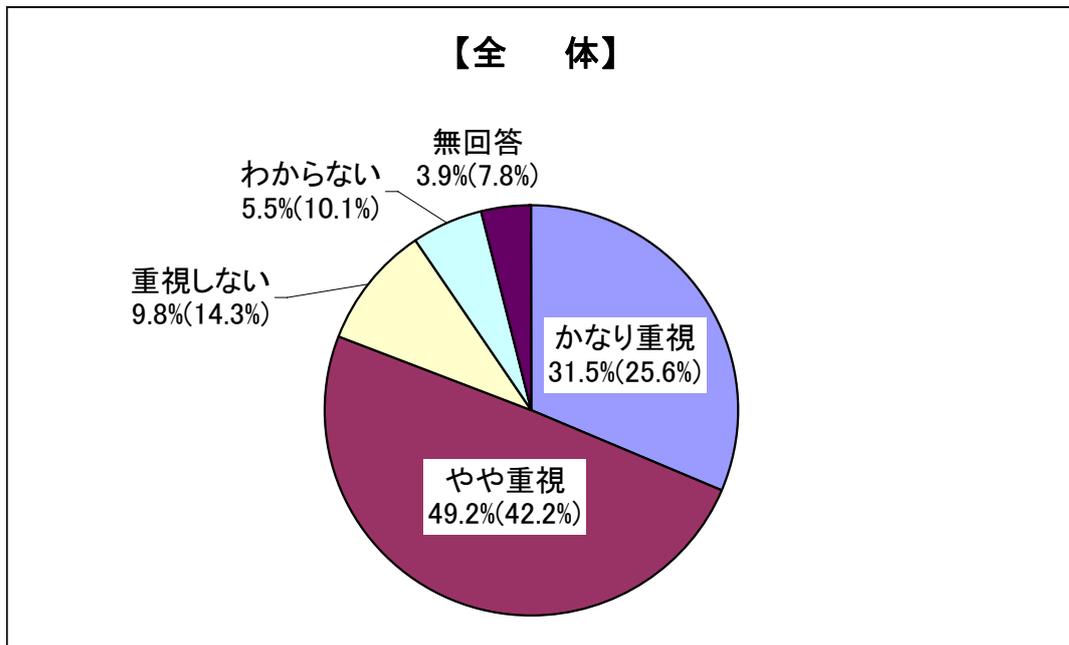


【役員・議員】、【小規模企業】ともに、「重視する」がそれぞれ98.2%(対前年比+2.4)、94.0%(対前年比+6.2)と90%以上の企業が重視する傾向にある。特に例年同様、【役員・議員】では「かなり重視する」が77.8%と、【小規模企業】に比べ高くなっている。

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

＜マーケティング・販路開拓＞ トップは「やや重視」 49.2%

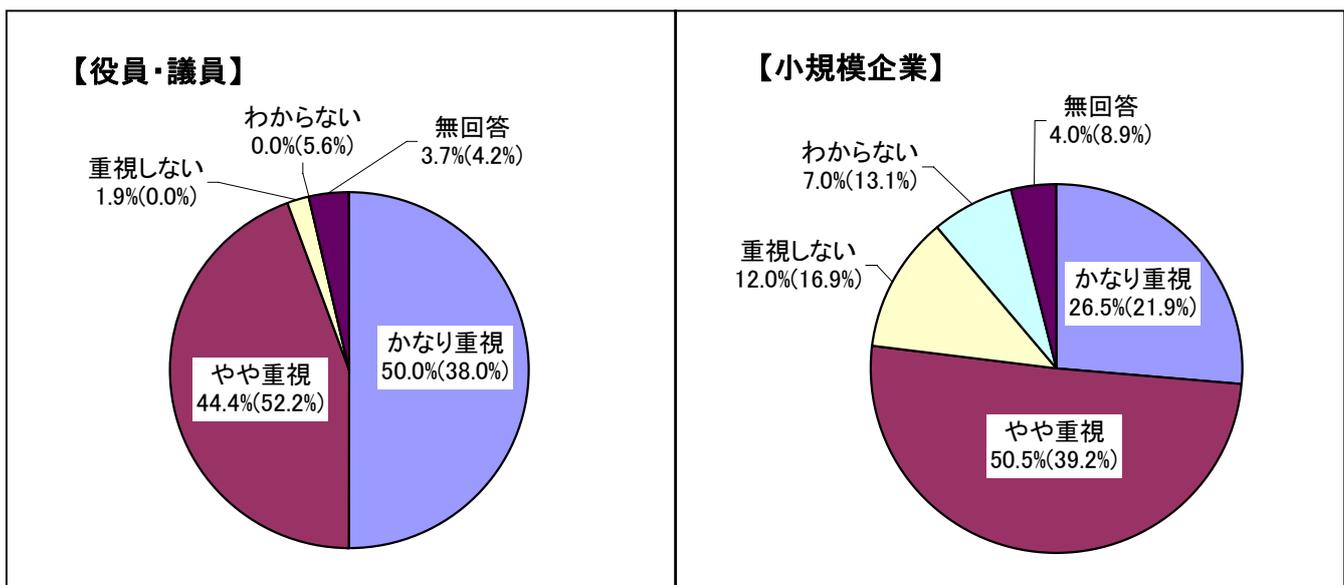


マーケティング・販路開拓については「かなり重視する」が31.5%（対前年比+5.9）、「やや重視する」が49.2%（対前年比+7.0）で「重視する」が80.7%（対前年比+12.9）となり、昨年に比べ重視度が高くなっている。

## 規模別の経営上の重視点

＜マーケティング・販路開拓＞ トップは「かなり重視」 50.0%

＜マーケティング・販路開拓＞ トップは「やや重視」 50.5%

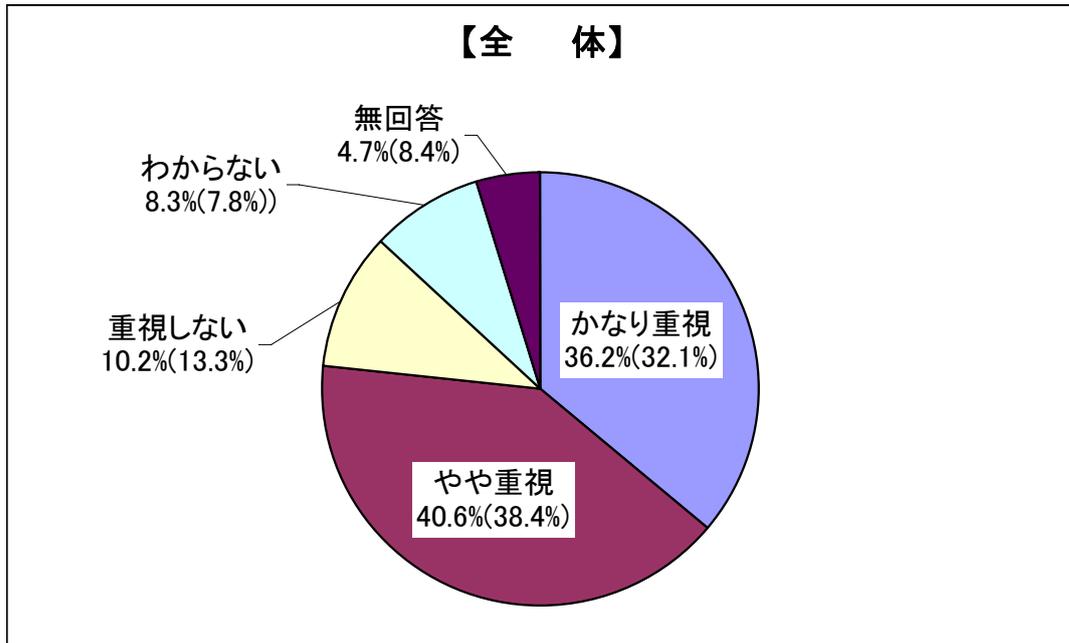


【役員・議員】は「かなり重視」が50.0%（対前年比+12.0）でトップ。【小規模企業】は「やや重視」が50.5%（対前年比+11.3）でトップ。「重視する」の割合が、【役員・議員】は94.4%（対前年比+4.2）とほぼすべての企業が重視しているのに対し、【小規模企業】は77.0%（対前年比+15.9）と差が出ている。

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

＜人材育成＞ トップは「やや重視」 40.6%

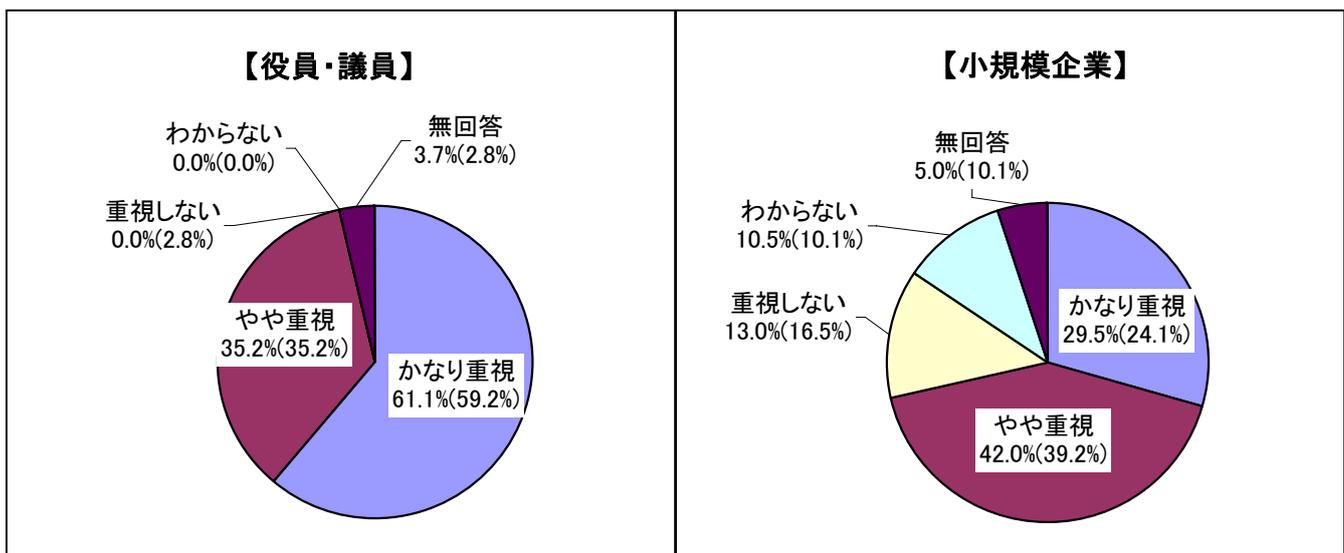


「やや重視する」が40.6%(対前年比+2.2)でトップ。次いで、「かなり重視する」が36.2%(対前年比+4.1)となり、昨年に比べ重視度は若干ではあるが高くなっている。

## 規模別の経営上の重視点

＜人材育成＞ トップは「かなり重視」 61.1%

＜人材育成＞ トップは「やや重視」 42.0%

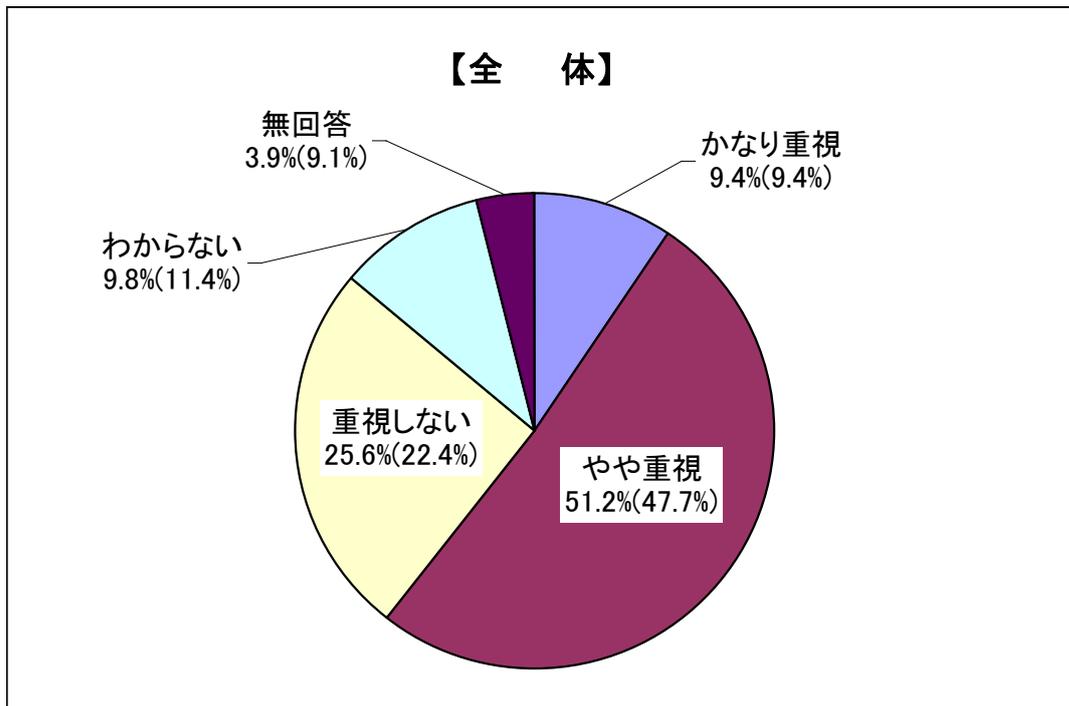


【役員・議員】は昨年とほぼ同じ結果となったのに対し、【小規模企業】は「かなり重視する」が対前年比で5.4ポイント増加するなど、「重視する」の合計は71.5%(対前年比+8.2)となったことで、【役員・議員】【小規模企業】の差は6.3ポイント縮まった。

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

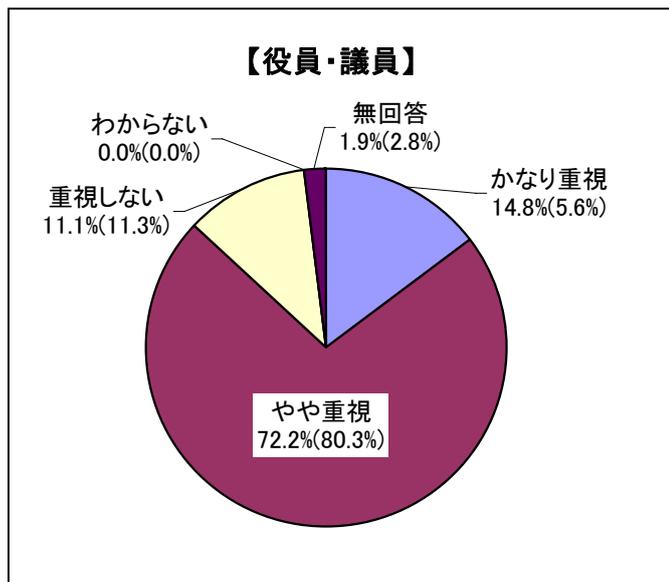
<IT化の推進> トップは「やや重視」 51.2%



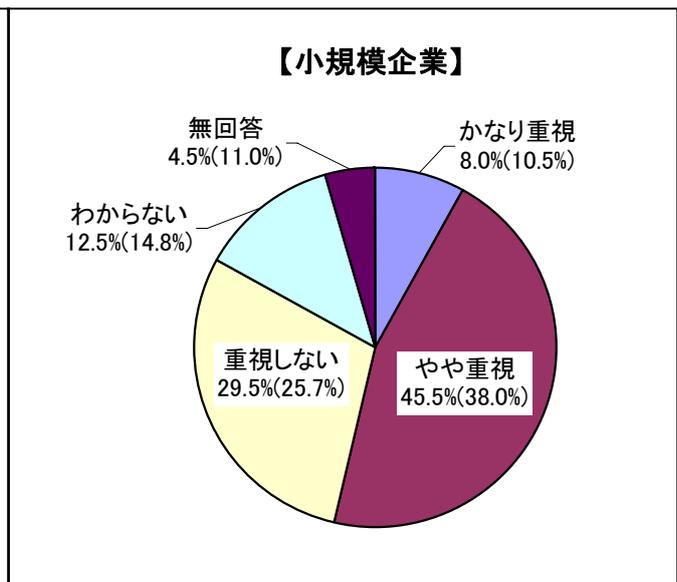
「やや重視する」が51.2%(対前年比+3.5)となり、「重視する」の割合が増加しているが、それと同時に「重視しない」が25.6%(対前年比+3.2)とこちらも増加しており、企業によって意見が分かれる結果となった。

## 規模別の経営上の重視点

<IT化の推進> トップは「やや重視」 72.2%



<IT化の推進> トップは「やや重視」 45.5%

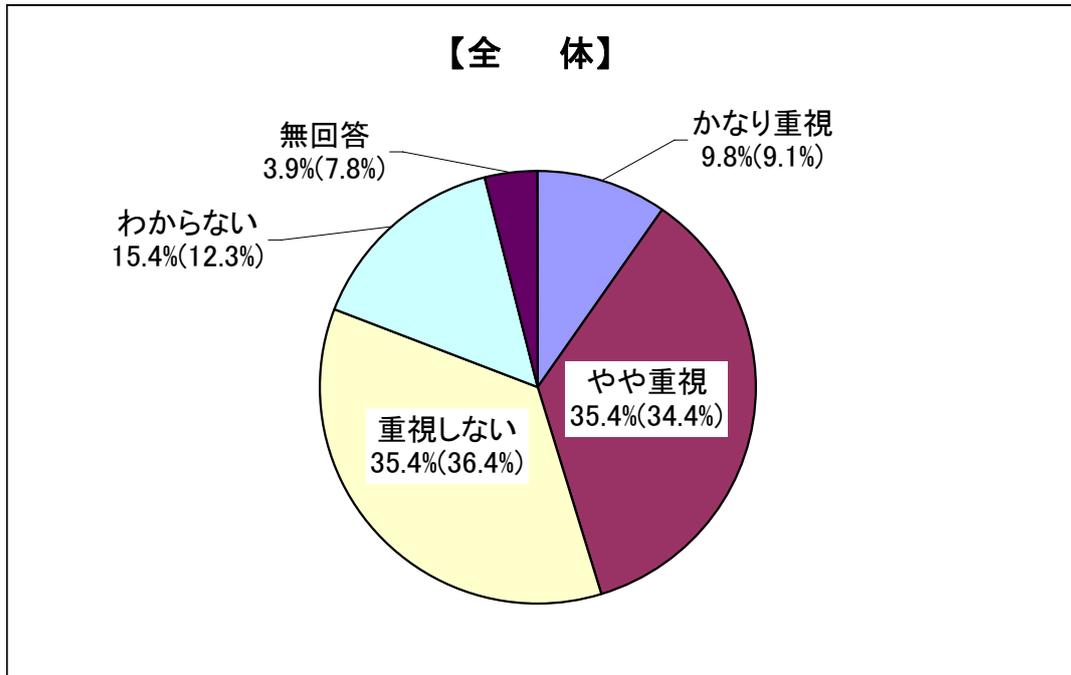


【役員・議員】は「(かなり、やや)重視する」の割合が、87.0%(対前年比+1.1)に対し、【小規模企業】は53.5%(対前年比+5)となり、昨年と比べ差は縮まったものの、依然として大きな開きがある。[33.5ポイント(対前年比-3.9)の差]

## 経営上の重視点

※ グラフの( )内は、前年数値

＜新分野への進出＞ トップは「やや重視」及び「重視しない」 35.4%

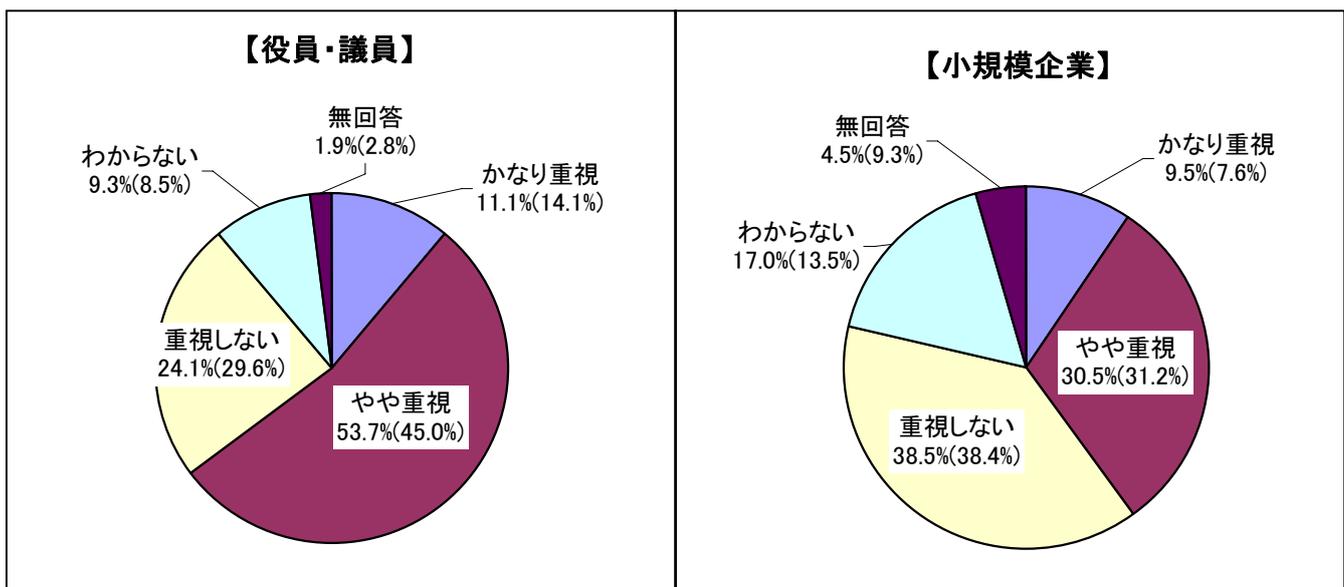


「やや重視」及び「重視しない」がともにトップとなり、それぞれ35.4%(対前年比+1.0)、35.4%(対前年比-1.0)。昨年と大きな変化は見られなかった。

## 規模別の経営上の重視点

＜新分野への進出＞ トップは「やや重視」 46.9%

＜新分野への進出＞ トップは「重視しない」 39.6%



【役員・議員】は「やや重視」が53.7%(対前年比+8.7%)でトップなのに対し、【小規模企業】は「重視しない」が38.5%(対前年比+0.1)でトップ。昨年同様に【役員・議員】と【小規模企業】との間には違いが生じている。

# 2014年経済予測アンケート

## 景気

Q1 景気の現状について昨年（2012年）11月と比較して、どのように感じてもらえますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| (1) かなり好転   | (2) やや好転  |
| (3) 変わらない   | (4) やや悪化  |
| (5) かなり悪化   | (6) わからない |
| (7) その他 ( ) |           |

Q2 県内の景気動向についてお尋ねします。本格的な景気回復の時期は、いつ頃からと思われますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| (1) 既に回復している    | (2) 2014年上期から回復 |
| (3) 2014年下期から回復 | (4) 2015年から回復   |
| (5) 2015年以降に回復  | (6) わからない       |
| (7) その他 ( )     |                 |

## 産業全体

Q3 現在（2013年11月）の業況水準を基準に、2014年の県内の各産業別の見通しについて、どのように予測されますか。□欄にレ印をお付け下さい。（自社以外の業種についてもご回答をお願い致します。）

	かなり好転する	やや好転する	変わらない	やや悪化する	かなり悪化する	わからない
1. 全業種	<input type="checkbox"/>					
2. 製造業	<input type="checkbox"/>					
3. 建設業	<input type="checkbox"/>					
4. 運輸・通信業	<input type="checkbox"/>					
5. 卸売・小売業	<input type="checkbox"/>					
6. 飲食業	<input type="checkbox"/>					
7. 金融・保険業	<input type="checkbox"/>					
8. サービス業	<input type="checkbox"/>					

（※1～8の全ての業種に該当箇所のチェックをお願い致します。）

## 円市場

Q 4 - 1 現在（2013年11月上旬）の為替水準を基準に、2014年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、10月11日-11月11日) 東京外国為替 円(1ドル=円)

[始値] 98.19 [高値] 98.55 [安値] 97.82 [終値] 98.21

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む  
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む  
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない  
(7) その他 ( )

Q 4 - 2 貴社にとって望ましい為替水準はいくらですか？  
ご記入をお願いします。

(1ドル= ) 円)

## 株式市場

Q 5 - 1 2014年の株式市場の見通しについて、現在（2013年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、10月11日-11月11日) 国内株式 日経平均(円)

[始値] 14,422.01 [高値] 14,486.10 [安値] 14,311.36 [終値] 14,388.52

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む  
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む  
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない  
(7) その他 ( )

Q 5 - 2 貴社にとって望ましい株価水準はいくらですか？  
ご記入をお願いします。

( ) 円)

## 金利

Q 6 2014年における金利の見通しについて、今年（2013年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む  
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む  
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない  
(7) その他 ( )

## 経営の問題点

- Q 7 2014年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。  
該当する番号を○でお囲み下さい。(3項目以内)
- (1) 需要の停滞 (2) 取引条件の悪化  
 (3) 金利負担の増加 (4) 人件費の増加  
 (5) 原材料価格の上昇 (6) 材料費・人件費以外の経費の増加  
 (7) 販売・利用価格の上昇難 (8) 消費税増税に伴う価格転嫁難  
 (9) 従業員の確保難 (10) 大型店,競合店の進出による競争の激化  
 (11) 事業資金の借入難 (12) IT化への対応難  
 (13) ニーズ変化への対応難  
 (14) その他 ( )

## 経営の重視点

- Q 8 2014年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄にレ印をお付け下さい。

	かなり重視する	やや重視する	重視しない	わからない
1. 売上高 (完工高、取扱高)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 収益	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. マーケティング 販路開拓	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 人材育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. IT化の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 新分野への進出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## コメント

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

---



---



---



---

ご協力ありがとうございました。